

第33回
地域文化
伝承館

第36回全国健康福祉祭とっとり大会
ねんりんピックはばたけ鳥取2024
地域文化伝承館 報告書



心に残る出会い、
鳥取の文化との対話。

第33回
地域文化

伝承館
報告書

第36回全国健康福祉祭とっとり大会
**ねんりんピック
はばたけ鳥取2024**
咲かせよう 砂丘に長寿と笑みの花
令和6年10月19日(土)~22日(火)



主催 厚生労働省、鳥取県、(一財)長寿社会開発センター
共催 スポーツ庁
主管 公益財団法人全国老人クラブ連合会、
公益社団法人鳥取県老人クラブ連合会

第36回全国健康福祉祭とっとり大会
**ねんりんピック
はばたけ鳥取2024**
咲かせよう 砂丘に長寿と笑みの花
令和6年10月19日(土)~22日(火)



大会マスコット
あおやかみじろう

鳥取市青谷上寺地遺跡から出土した人骨をもとに復顔した青谷弥生人「青谷上寺朗」をモチーフにしたキャラクター「あおやかみじろう」を大会PRキャラクターに採用しました。
手には遺跡から出土した「土器」と、「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」の旗を持っています。
大会開催前から鳥取のPRの為に全国を飛び回り、大会開催中もかわいく元気よく大会を盛り上げてくれました。

目次

ごあいさつ

公益財団法人全国老人クラブ連合会 会長 村木厚子	2
公益社団法人鳥取県老人クラブ連合会 会長 岡森 裕	

開催概要

開催要領 来館者・出展者・出演者等の状況 記念品等 広報製作物 開催施設の概要 設営物・ユニフォーム 事業経過	4
--	---

ハイライトアルバム

開館式 準備・受付等 出展 出演 県知事ご来館・村木会長視察 閉館式	11
---	----

出展コーナー

出展ブース団体一覧 出展ブース	25
--------------------	----

出演コーナー

ステージスケジュール ステージ(1日目、2日目、3日目)	39
---------------------------------	----

運営組織

組織図 実施本部 運営スタッフ	59
-----------------------	----

アンケート

	62
--	----



ごあいさつ

公益財団法人
全国老人クラブ連合会

会長 村木 厚子



全国健康福祉祭(ねんりんピック)は、厚生省50周年記念事業として、昭和63年に兵庫県・神戸市で第1回大会が開催されたのが始まりです。

老人クラブが企画・運営する「地域文化伝承館」は、岩手県で開催された第4回大会から開設され、今大会で第33回を数えました。高齢者の知恵と経験、技術を活かして取り組んでいる伝承活動や健康・生きがいづくり活動を紹介する場として定着し、ねんりんピックの文化イベントの中でも、多くの来場者を集める人気の催しとなりました。

第36回全国健康福祉祭とっとり大会(ねんりんピックはばたけ鳥取2024)では、「咲かせよう 砂丘に長寿と笑みの花」をテーマに、“いくつになっても生き生きと活動し、心身ともに健康長寿・生涯現役に繋げる”“共にふれあい、分かち合うことで、人と人とのきずなを強く感じられる”“世代や立場を超えた地域内外の繋がりによって、持続可能な地域共生社会を作り出す”“ゆったり、たっぷり、ととりの魅力を満喫していただける”大会が目指されました。

地域文化伝承館においては、昨年のえひめ大会のねんりんパワーを引き継ぎ、全国から来場される方々に鳥取の文化と高齢者の元気な姿を示そうと、関係者が一丸となって準備を進めてこられました。

福祉・生きがい関連イベントのメイン会場となった「米子コンベンションセンター」に特設された出展ブースとステージでは、県内各地の会員の皆様が意欲と熱気にあふれる多彩な活動を披露され、同世代や他世代との交流をとおして、老人クラブの活動に対する理解を深めることができました。また、会員スタッフの心を込めたおもてなしと、女性委員会が中心となって作製された手作りの記念品が、来場された方々の明るい笑顔につながったものと思っております。

期間中、平井伸治知事をはじめ多数のご来賓をお迎えし、連日多くの来場者で賑わったことは、長きにわたる準備と運営に携わられた皆様にとって、大きな喜びであったことと存じます。

最後に、鳥取県老人クラブ連合会の役職員の皆様、会員各位のご尽力に心から感謝申し上げますとともに、開設にあたり多大なご支援・ご協力を賜りました鳥取県をはじめとする関係者の皆様に厚く御礼を申し上げ、ご挨拶いたします。

公益社団法人
鳥取県老人クラブ連合会

会長 岡森 裕



第36回全国健康福祉祭とっとり大会「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」は、(咲かせよう砂丘に笑みの花)をテーマに10月19日～22日の4日間、全県下で実施されました。延べ参加人数は、ほぼ鳥取県の人口に匹敵する54万人を超える大イベントでした。

この中で老人クラブが主管した「第33回 地域文化伝承館」は10月19日～21日の3日間、全市町村の老人クラブが参加して、米子コンベンションセンターで行い、来場者は延べ4万人と大盛況でした。

出展ブースには、それぞれ工夫を凝らした展示を始め、たくさんの体験、実演コーナーを設けていただき、特に体験コーナーでは、どのブースも準備した材料が無くなってしまうなど予想を超える多くの方にご来場いただきました。ステージでは、37の出演団体により、地域芸能を始め日頃取り組んでいるダンス、踊り、劇、コーラス、演奏など多彩な演目で高齢者の意気込みと情熱で会場を魅了していただきました。特に良かったのは、展示・体験ブースとステージを同一会場で実施したことで会場全体の盛り上がりと一体感が生まれ、交流の輪が広がったことです。

おもてなしコーナーは、茶菓子の接待が大変喜ばれた上に、笑顔の対応が良かったと大好評でした。そして、記念品の杉のコースターに添えた一言が、受け取った人の心を和ませ動かししました。大盛会で終わった地域文化伝承館は、みんなに素晴らしい感動と思い出を残しました。鳥取県老人クラブの組織力、運営力や素晴らしさなども全国に発信出来たと思います。

伝承館の成功は、老人クラブ役員を始め会員の積極的な参加と取り組む意欲、チームワークによるものと思います。このイベントを成し遂げた活力を是非とも今後の老人クラブ活動の活性化に繋げてほしいと思います。

終わりに、地域文化伝承館に参加していただきました皆様を始め、ご支援ご協力いただいた関係機関、団体、伝承館に携わっていただいた全ての皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。本当に有り難うございました。



開催概要

開催概要	
開催要領	
催事名	ねんりんピックはばたけ鳥取2024 (第36回全国福祉祭とっとり大会) 「地域文化伝承館」
趣 旨	高齢者が長年培ってきた豊かな経験・知識・技術を活かして取り組んでいる様々な地域文化・生活文化の伝承活動を、その実演・展示を通して披露し各世代との交流を図る。 また、地域に伝わる民俗芸能・郷土芸能を老人クラブ等が日頃取り組んでいる多彩な健康・生きがい活動を紹介・発表して、老人クラブを始めとする高齢者の組織や活動への理解を高めると共に、これらの活動を促進し、生涯にわたって健やかで、心豊かに生活する事が出来る社会づくりを図る。
主 催	厚生労働省 / 鳥取県 / 一般財団法人長寿社会開発センター
共 催	スポーツ庁
主 管	公益財団法人 全国老人クラブ連合会 / 公益社団法人 鳥取県老人クラブ連合会
運 営	公益社団法人 鳥取県老人クラブ連合会
期 間	令和6年10月19日(土)～令和6年10月21日(月) 午前10時～午後4時(21日は午後3時30分まで)
会 場	米子コンベンションセンター 多目的ホール 〒683-0043 鳥取県米子市末広町294 TEL:0859-35-8111/FAX:0859-39-0700
内 容	鳥取県内の老人クラブ等による実演・体験・交流・発表 (1)地域文化・生活文化の伝承活動 (2)地域に伝わる民俗芸能・郷土芸能の伝承活動 (3)創意・工夫を活かして取り組んでいる健康・生きがいづくりの活動

来館者・出展者・出演者等の状況、記念品等				
来館者・出展者・出演者等の状況				
	10/19(土)	10/20(日)	10/21(月)	計
来 館 者	10,587人	19,697人	8,028人	38,312人
出 展	22ブース	22ブース	22ブース	22ブース
出 展 者	71人	75人	77人	223人
出 演 団 体	13団体	13団体	11団体	37団体
出 演 者	213人	166人	179人	558人
運営スタッフ	75人	76人	74人	225人
総来場者数	10,946人	20,014人	8,358人	39,318人

記念品等

全国的にも有名な鳥取県・智頭町で育林された「智頭杉」を使用したコースターを来場者への記念品として配布しました。県老連女性委員会で、県19市町村の風景、催事、特産物を厳選しデザインされています。台紙には会員の皆さんが想いを込めた手書きしたメッセージが書かれています。





広報製作物

■ 告知用チラシ (2024年2月製作 A4片面)



■ 告知用ポスター (2024年2月製作 B2)



■ 告知用クリアファイル (2024年2月製作 A4サイズ両面)



■ 告知用チラシ (2024年7月製作 A4両面)

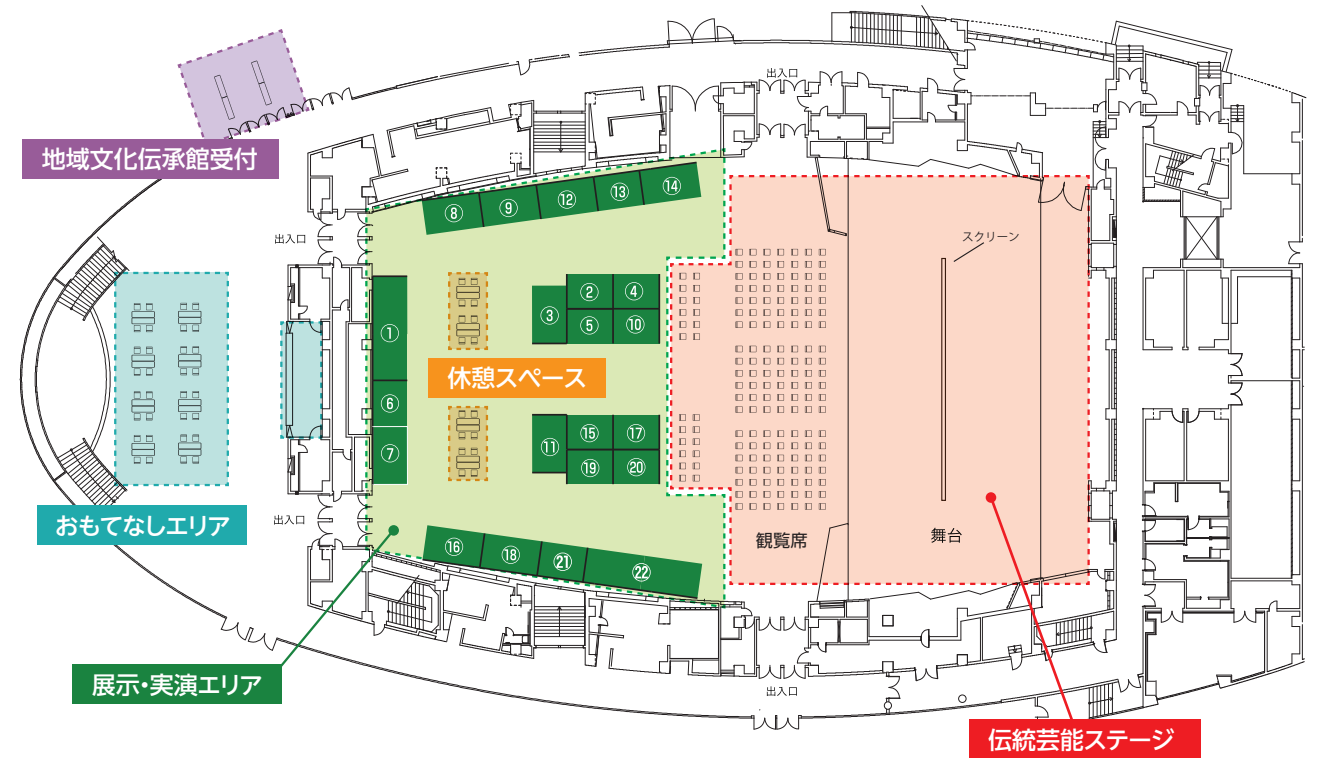


■ パンフレット (2024年9月製作 A3両面)



開催施設の概要

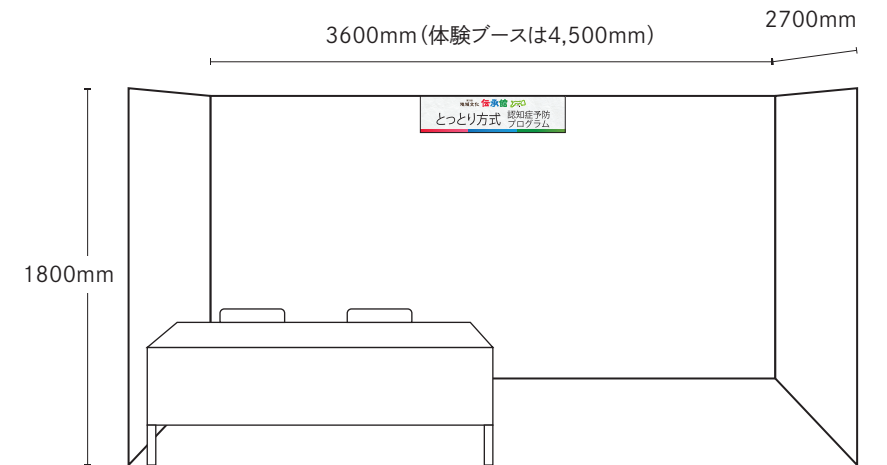
米子コンベンションセンター(多目的ホール)



■ 出展ブース団体一覧

ブースNo	団体名
1	鳥取市老人クラブ連合会
2	岩美町老人クラブ連合会
3	八頭町老人クラブ連合会
4	若桜町老人クラブ連合会
5	智頭町老人クラブ連合会
6	倉吉市老人クラブ連合会①
7	倉吉市老人クラブ連合会②
8	湯梨浜町高齢者クラブ連合会
9	三朝町老人クラブ連合会
10	北栄町老人クラブ連合会
11	琴浦町高齢者クラブ連合会
12	米子市老人クラブ連合会①
13	米子市老人クラブ連合会②
14	境港市ことぶきクラブ連合会
15	南部町老人クラブ連合会
16	伯耆町老人クラブ連合会
17	日吉津村老人クラブ連合会
18	大山町老人クラブ連合会
19	日南町老人クラブ連合会
20	日野町老人クラブ連合会
21	江府町老人クラブ連合会
22	鳥取県老人クラブ連合会

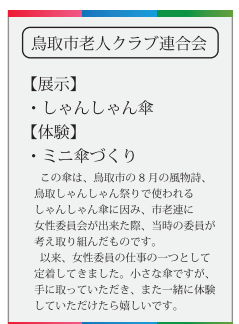
■ 出展ブース



■ ブースサイン (W900×H225)



■ ブース紹介サイン (W297×H420)



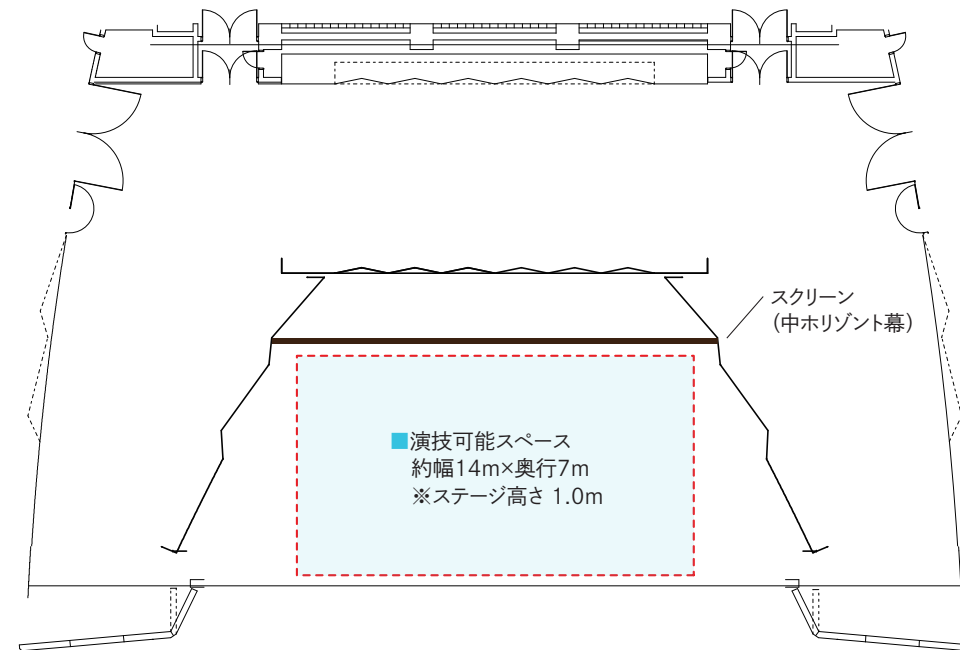


設営物・ユニフォーム

■ 伝統芸能ステージ



■ ステージ平面図



■ おもてなしエリア

日野町産「はぶ茶」、
鳥取銘菓の提供



■ スタッフジャンパー



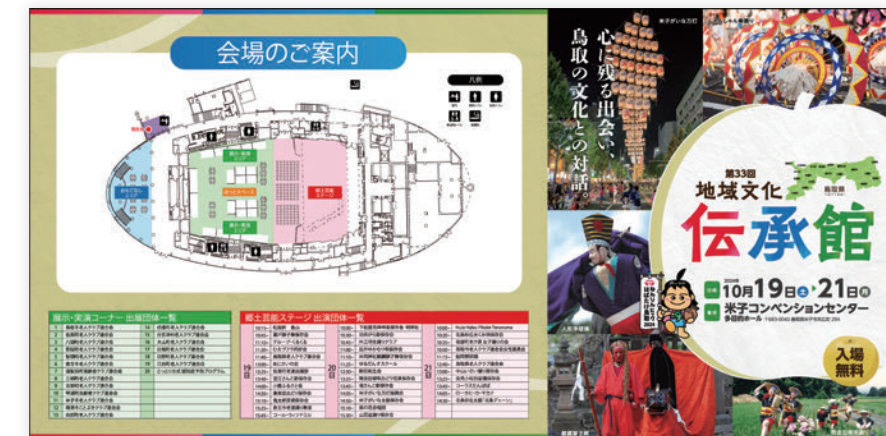
■ スタッフエプロン



■ ステージ タイトル吊看板 (W9,000×H900)



■ 会場案内看板 (W3,600×H1,800)



■ 会場 スタンドバナー看板 (W450×H1,800)





事業経過

実施年	月 日	事業内容
令和5年	6月28日(水)	実行委員会設立総会 実行委員会規程、実行委員会の設立
	6月28日(水)	第1回実行委員会 副委員長選出、事業計画、企画運営委員会設置要綱
	7月24日(月)	第1回企画運営委員会 委員長・副委員長選出、事業計画、出展・出演の募集、記念品、えひめ大会視察
	8月4日(金)	公益財団法人全国老人クラブ連合会に「主管」依頼
	8月17日(木)	出展・出演団体募集説明会(西部地区) 募集締め切り 11月27日(月)
	8月21日(月)	出展・出演団体募集説明会(東部地区) 募集締め切り 11月27日(月)
	8月23日(水)	出展・出演団体募集説明会(中部地区) 募集締め切り 11月27日(月)
	9月25日(月)	第2回企画運営委員会 えひめ大会「地域文化伝承館」の視察計画、出展・出演の募集について
	10月23日(月)	第33回全国健康福祉祭とっとり大会 地域文化伝承館 実施計画書作成業務委託契約締結 株式会社エムアンドエムドットコー
	10月27日(金)～30日(月)	第35回全国健康福祉祭えひめ大会(ねんりんピック笑顔のえひめ2023) 10/28～31 第32回地域文化伝承館 視察
	12月19日(火)	第2回実行委員会、第3回企画運営委員会合同委員会 えひめ大会「地域文化伝承館」の視察報告 出展・出演団体について、イベント実施計画、キャッチコピー、今後のスケジュール、記念品
	12月28日(木)	出展・出演団体の決定
令和6年	2月7日(水)	第4回企画運営委員会 ステージ出演プログラム、イベント実施計画書、チラシ、来年度スケジュール
	2月19日(月)	第3回実行委員会 ステージ出演について、イベント実施計画書、来年度スケジュール
	3月1日(金)	各都道府県・指定都市老連等へのポスター・チラシ等の送付
	3月4日(月)	出展・出演団体への詳細調査依頼
	6月4日(火)	第5回企画運営委員会 ステージ演出プログラム、企画運営業務、チラシ、運営スタッフ、記念品
	4月4日(木)	第33回地域文化伝承館企画運営業務委託契約締結 株式会社エムアンドエムドットコー
	6月11日(火)	第4回実行委員会 ステージ出演プログラム、ブース出展について、企画運営業務、チラシ、運営スタッフ
	7月16日(火)	第1回出展・出演団体説明会(西部地区) ブース配置・設備等、出演プログラム、控室、リハーサル、演出等、搬入搬出、駐車場 他

実施年	月 日	事業内容
令和6年	7月24日(水)	第1回出展・出演団体説明会(中部地区) ブース配置・設備等、出演プログラム、控室、リハーサル、演出等、搬入搬出、駐車場 他
	6月26日(水)	第33回地域文化伝承館 開館式、閉館式への臨席案内文書送付
	8月1日(木)	第1回出展・出演団体説明会(東部地区) ブース配置・設備等、出演プログラム、控室、リハーサル、演出等、搬入搬出、駐車場 他
	8月20日(火)	出展・出演団体への最終調査依頼
	8月22日(木)	女性委員会(記念品台紙確認作業)
	9月4日(水)	記念品梱包作業(西部地区)
	9月10日(火)	第6回企画運営委員会 出展・出演団体手引き、パンフレット、運営スタッフマニュアル、記念品
	9月17日(火)	記念品梱包作業(東部地区)
	9月18日(水)	記念品梱包作業(中部地区)
	9月26日(木)	第2回出展・出演団体説明会(西部地区) 出展・出演団体の手引き
	〃	運営スタッフ説明会 運営スタッフマニュアル、前日準備必携
	9月30日(月)	第2回出展・出演団体説明会(中部地区) 出展・出演団体の手引き
	7月4日(木)	各都道府県・指定都市老連等へのチラシ等の送付
	9月27日(金)	地域文化伝承館 当日配布用パンフレット作成
	10月3日(木)	第2回出展・出演団体説明会(東部地区) 出展・出演団体の手引き
令和7年	10月18日(金)	第33回地域文化伝承館 前日準備
	10月19日(土)～21日(月)	第36回全国健康福祉祭とっとり大会「第33回地域文化伝承館」
	11月29日(金)	第5回実行委員会、第7回企画運営委員会合同委員会 報告書、DVDについて
	1月中旬	各都道府県・指定都市老連等への第33回地域文化伝承館 報告書・DVDの送付
令和7年	1月30日(木)	第6回実行委員会 解散 令和6年度事業報告及び決算等



ハイライトアルバム

開館式

準備・受付・運営スタッフ



開館式



(公財)全国老人クラブ連合会
村木 厚子 会長 挨拶



御来賓
厚生労働省 大臣官房審議官 吉田 修 様
鳥取県 福祉保健部長 中西真治 様
(一財)長寿社会開発センター 事務局長 遠藤征也 様



(公社)鳥取県老人クラブ連合会
岡森 裕 会長 開館宣言



司会
和田季子



設立総会



企画運営委員会



出展・出演団体説明会



女性委員会(記念品台紙確認)



合同委員会(実行委員会・企画運営委員会)



運営スタッフ説明会



出展・出演団体説明会



記念品梱包作業



ハイライトアルバム

受付・運営スタッフ

アラカルト



平井県知事 視察

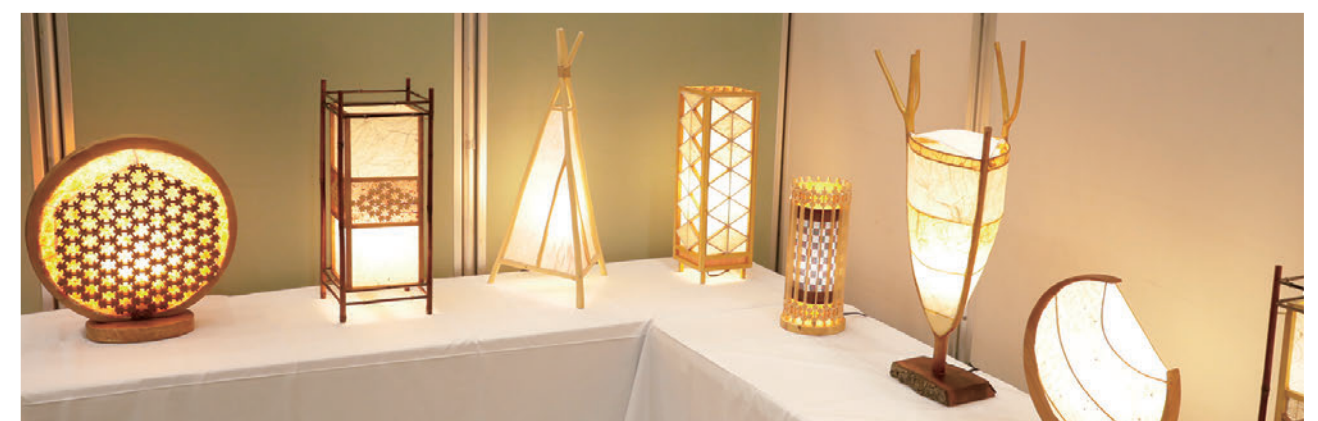
村木会長 視察





ハイライトアルバム

展示・実演・体験エリア



ごあいさつ

開催概要

ハイライトアルバム

出展コーナー

出演コーナー

運営組織

アンケート

ごあいさつ

開催概要

ハイライトアルバム

出展コーナー

出演コーナー

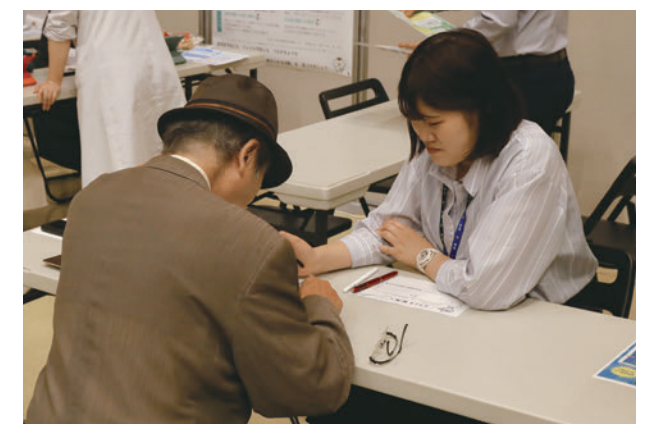
運営組織

アンケート



ハイライトアルバム

展示・実演・体験エリア



ごあいさつ

開催概要

ハイライトアルバム

出展コーナー

出演コーナー

運営組織

アンケート

ごあいさつ

開催概要

ハイライトアルバム

出展コーナー

出演コーナー

運営組織

アンケート



ハイライトアルバム

伝統芸能ステージ





ハイライトアルバム

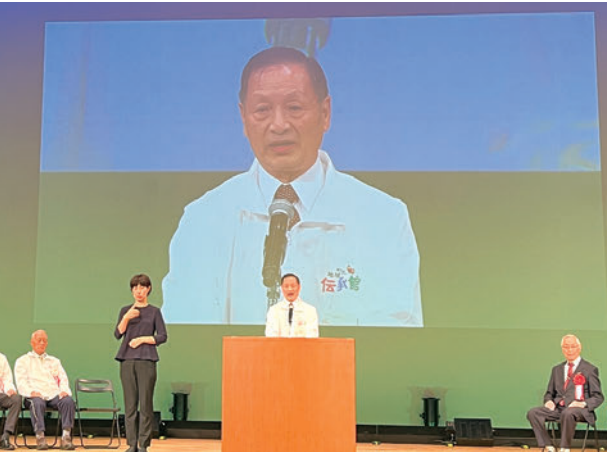
伝統芸能ステージ



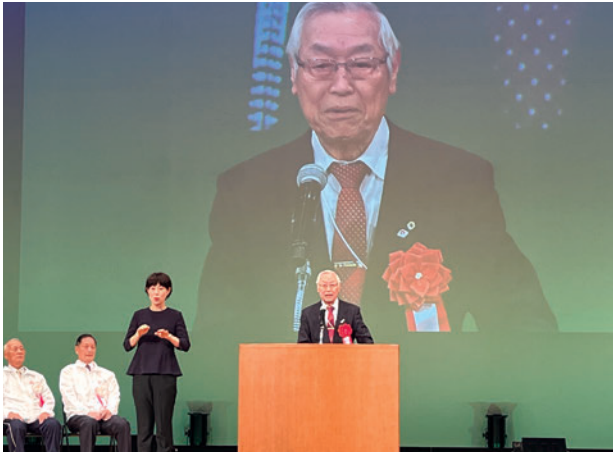


ハイライトアルバム

閉館式



(公社)鳥取県老人クラブ連合会 岡森 裕 会長 挨拶



(公財)岐阜県老人クラブ連合会 西田 勝嘉 会長 挨拶



万歳三唱



伝承館旗伝達

出展コーナー

■出展ブース団体一覧

No.	団体名	出展内容
1	鳥取市老人クラブ連合会	展 流しびな(用瀬)、青谷和紙工芸品、菅笠(鹿野)、 展 しゃんしゃん傘 体 ミニ傘づくり
2	岩美町老人クラブ連合会	展 布の絵本 実 民話の読み聞かせ
3	八頭町老人クラブ連合会	展 竹細工 実体 竹とんぼ
4	若桜町老人クラブ連合会	展 滝の写真
5	智頭町老人クラブ連合会	展実 人形浄瑠璃
6	倉吉市老人クラブ連合会①	展実 陶芸 展 猫の写真、絵手紙
7	倉吉市老人クラブ連合会②	展体 リサイクル品、多面かざり、パズル 他
8	湯梨浜町高齢者クラブ連合会	展 陶芸教室作品 体 ステンシルアート
9	三朝町老人クラブ連合会	展実体 バランの切り絵
10	北栄町老人クラブ連合会	展 木工挽物、工作-蒸気機関車-、パッチワーク、行燈
11	琴浦町高齢者クラブ連合会	展 木工挽物、工作-蒸気機関車- 体 折り紙
12	米子市老人クラブ連合会①	展実体 クラフトテープ作品
13	米子市老人クラブ連合会②	展 「米子市の継承文化&弥生遺跡発掘写真展」
14	境港市ことぶきクラブ連合会	展 バードカービング、弓浜絃 他 実体 織、糸紡ぎ
15	南部町老人クラブ連合会	展 一式飾り、藁細工作品、鰻絵(こてえ)
16	伯耆町老人クラブ連合会	展 伯耆町富士と鬼をテーマの美術作品 体 スケッチ
17	日吉津村老人クラブ連合会	展 活動内容の紹介
18	大山町老人クラブ連合会	展 第5明生会の活動紹介 体 オーリングテスト
19	日南町老人クラブ連合会	展 パッチワーク、服リメイク
20	日野町老人クラブ連合会	展 おしどりの住む町・鳥取県日野町
21	江府町老人クラブ連合会	展 池の内常盤会 60年のあゆみ写真展
22	鳥取県老人クラブ連合会	体 とっとり方式認知症予防プログラム 教 スマホコーナー



鳥取市老人クラブ連合会

流しびな(用瀬)、鹿野すげ笠、青谷和紙、ミニ傘づくり

展示
体験

●流しびな(用瀬)

用瀬の流しびな行事は、毎年旧暦の3月3日に行われ、各家庭がおひな様やささまざまな飾りつけをして家を開放します。また、地域を巡るスタンプラリーや、有志による出店、着飾った子供たちが願い事を書いた紙を“さんだわら”に載せて千代川に流すなど、地域全体で盛り上がり、とても賑やかな一日となります。

このような様子を展示で伝えようと、地域の皆様のご協力をいただき、無事に展示することが出来ました。来館者の皆様にも関心を持っていただけたようで、今回の展示が用瀬の行事の賑わいに繋がれば大変嬉しく思います。



●鹿野すげ笠

江戸時代から伝わるすげ笠は、風通しが良く雨に強いことから、農作業や魚釣りの日傘として現在でも利用されています。伝承館では、すげ笠の製作過程の模型や中学生と一緒にすげ笠を作っているパネルのほか、すげを材料としたコースターや名刺などを展示しました。また、来場者にすげ笠作成の実演を見て頂いたり、被って写真撮影を行うなどとても好評でした。高齢化の中で、技術の継承は難しい面もありますが、仲間と一緒に楽しく仲良く頑張っていきたいと思っています。

●青谷和紙

江戸時代には、鳥取藩の御用紙として手厚く保護されたことから、因州和紙の地位は全国的に不変のものとなりました。伝承館の展示のため、青谷老人クラブ会員の賛同を得て2年前から和紙工芸品の製作に取り掛かりました。出来る限り大きく、人目に付く色、美しさを目標としました。作品は、花、ランプシェードを中心にちぎり絵、折り紙等、22点展示しました。鳥取市老連のブースには、県内外から多くの方が立ち寄られ、因州和紙工芸品を自慢することができ、大変嬉しく思っています。

●ミニ傘づくり

ミニ傘は、鳥取市8月の風物詩、鳥取しゃんしゃん祭りで使用されるしゃんしゃん傘にちなみ、市老連に女性委員会が出来た際、女性委員が考え取り組んだものです。以来、女性委員の活動の一つとして定着しました。細かい作業で折り進むうち、ズレが生じるなど悩むことも多いですが、鈴を付け完成すると、本当に可愛いミニ傘です。この度、伝承館に向けて6回の講習会を行い、お土産用、体験用と準備した傘が多くの皆様に喜んでいただけたことは、今後の傘づくりの励みになります。今後も、この傘づくりを継続し市老連の大きな目玉として育てていきたいと思っています。



岩美町老人クラブ連合会

【布絵本ちくちくチョッキン】布の絵本、民話の読み聞かせ

展示
実演

私達は、2004年スタート以来、会員数6人で月1回楽しく活動しています。

この度は、3本柱で展示を行いました。

①過去の作品全てを展示 ②11冊目の布の絵本の文字のかがりの過程を紹介 ③読み聞かせ
また、当日の思い付きで、来場者の感想記録ノートの設置も行いました。

3日間を終え、私達も常々話し合っている課題でもあり、感想記録ノートに書かれた私達へのエール
①継続すること②次の世代へ継承努力をすることを使命とし、どのように進めていくべきか…今後の活動に活かしていきたいと思っています。



八頭町老人クラブ連合会

竹細工、竹とんぼ

展示
実演
体験

八頭町には、竹林の町を主体として200種類の竹、笹を集めた竹林公園があります。その公園にちなんで、昔ながらの「竹細工」の展示と「竹とんぼ」の体験を行いました。初心者向けから上級者向け用に材料の竹を割り準備しました。1日目から予想以上の体験者で、急いで材料を準備し追加しました。製作時間の短縮のため、途中から全て10分間ほどで簡単に作成出来るように変更するなど、多くの方に体験してもらえる工夫もしました。

大人の方は、参加者同士、昔の子供のころを懐かしみながら楽しんで体験しておられました。親子連れの方は、親が子供のお土産として一生懸命作る場面もあり、出来た竹とんぼを飛ばして楽しんでおられました。360個準備した材料は全てなくなり、大変充実した3日間でした。





ブースNo.

4

若桜町老人クラブ連合会

【山男同好会】滝の写真

展示

鳥取県東南部に位置する若桜町の周辺には1000m以上の山岳が25山あり急峻な地形が多く、そこには豊かな自然と豊富な水源があり変化に富む大小の滝が数多く点在しています。

山男同好会会員は各地の山を散策し、時に熊の出没を心配しながら渓谷を遡り、新たな滝を発見することを楽しみにしています。これまでに60カ所以上の滝を撮影しましたが、まだ踏査できていない渓谷も残っております。

今回は28点の写真を展示しましたが、滝に興味を持った方が少なくなく質問は男性より女性が多くありました。滝のある環境を求め、若い頃は山登りが好きでよく登りました。自然の素晴らしさを懐かしく思い出し会話がはずむなどして楽しい3日間でした。



ブースNo.

6

倉吉市老人クラブ連合会①

【茶屋福寿会】陶芸、猫の写真、絵手紙

展示

実演

私の窯は、玉伯焼と称し、昭和52年から会社勤めをしながら陶芸活動を行ってきました。小学校や地域での陶芸教室などに組みながら地域の方とのふれあいを大切にしています。

この度は、陶芸制作を身近に感じていただきたーいと思い出展いたしました。大勢の前でロクロを廻すのは初めてでしたが、普段通り出来、凄く充実した時間を過ごせました。



ブースNo.

5

智頭町老人クラブ連合会

【新田相生文楽】人形浄瑠璃

展示

実演

江戸から明治へ。社会制度が大きく変化し、今までの規範や価値観が否定され、世相は乱れました。博打が流行し、一夜のうちに田畑山林を失う者も出て村人は不安な生活を送っていました。

このようなすさんだ現状を憂い健全な村づくりをしようと青年たちが私財を出し合って始めた人形浄瑠璃。明治7年のことです。

以来、150年。千代川の源流域にある私たちの新田集落では今もこの人形浄瑠璃を受け継いでいます。

展示ブースでは、人形浄瑠璃の舞台映像の他、古くから伝わる人形を展示し、また、実際に人形頭を手にとっていただけるようにしました。期間中、多くの方にお越しいただき感謝しています。



ブースNo.

7

倉吉市老人クラブ連合会②

【山根長生会】リサイクル品、多面かざり、パズル

展示

体験

「子ども先生」(地域の小学生)に教えてもらいながら、認知症対策として楽しく多面体づくりをしています。当初は、指先が思うように動かず、折り方を覚えるのに少し時間がかかりましたが、活動を続けた結果、飾りきれない程たくさんの作品が出来、また会員同士が助け合うことで繋がりも深まりました。

伝承館では、老若男女問わず多くの方に多面体作りを体験していただき、大変喜んでいただけました。皆がひとつになり、参加させていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。





ブースNo.
8

湯梨浜町高齢者クラブ連合会

【湯梨浜町文化大学夢工房】ステンシルアート、【湯梨浜町文化大学陶芸コース】陶芸

展示
体験

● ステンシルアート

私たち夢工房は、文化大学で月一度、世界で一枚の洋服を作る楽しみを味わっています。着物をほどいて、ミシンで今風にアレンジしています。

伝承館では、3日間子供から大人まで多くの来場者に体験していただきました。「今日の日が楽しい思い出になる」と喜んでいただきながら体験される方もあり、私達スタッフも心に残る楽しい3日間を過ごせました。

● 陶芸

湯梨浜町ふるさと陶芸館では、文化大学趣味講座陶芸コースとして、毎月(6月～1月)自由成形を基本としながら、練込み成形や下絵付けなどテーマを決めて作陶しています。また、町民(同行者は町外者も可)を対象とした陶芸体験教室を毎月募集して開催している他、公民館や地区の子ども会などグループでの教室も随時受け付けています。

今回は、文化大学メンバーの作品と陶芸体験教室参加者の作品を展示し、併せて活動内容もパネルで紹介しました。初日だけの展示でしたが、多くの来場者の方々に展示ブースを訪れていただき、感謝しています。ブース内に足を運んで鑑賞して下さる方は少なかったものの、今後の展示方法やアプローチを工夫することで、さらに多くの方に楽しんでいただけると感じました。



ブースNo.
9

三朝町老人クラブ連合会

【小鹿老人クラブ】バランの切り絵(岩本謙二)

展示
実演
体験

約50年前、初めて目にした小椋さんの作品に感銘を受け、すぐに弟子入りしました。厳しくご指導いただき、下絵では「アザミの刺や、手の凹凸」が伝わるよう何度も何度も書き直し、漸く認めてもらいました。出来上がった下絵を大きなバランへ貼り付け、そこから切り絵を始めます。

この度の出展では、体験コーナーを設けて老若男女多数の方々に切り絵を体験してもらいました。体験者の小学生は、カッターを力いっぱい握り刃が折れ苦戦していましたが、力加減やコツを伝え、上手に作品を完成させ持ち帰っていました。他出展者の作品も見せていただき良い刺激になりました。

今後も元気に料理の仕事と、切り絵をずっと続けていきたいと思っています。



ブースNo.
10

北栄町老人クラブ連合会

木工挽物、工作-蒸気機関車-、パッチワーク(般若心経)、行燈

展示

木工挽物は、1日目(19日)に17作品を展示しました。材料となる木材の種類を多く揃え、拭き漆で仕上げた大中小の作品を用意しました。多くの来場者から関心を寄せられました。県内で薄れていく木地師の文化もアピール出来感謝しています。

2日目(20日)からは、工作-蒸気機関車-を展示しました。作品制作について老若男女、多数の方から質問が沢山あり活気ある展示になりました。

また、3日間展示したのは、般若心経278文字を刺繍したパッチワークの掛け軸と身近にある木材や竹、因州和紙を使用し作成した和紙灯りです。

蒸気機関車(1両)とパッチワークは製作に1年以上もかかった作品でした。それぞれ特徴ある作品が展示出来、活気あるブースになりました。





ブースNo.
11

琴浦町高齢者クラブ連合会

展示
体験

【折り紙:折り紙教室、表具:表具教室、竹細工:竹細工教室、陶芸:陶芸教室】

●折り紙:折り紙教室

この度は、「因幡の白兎」を折り展示しました。また体験用に、厚紙を丸く切り、その上にクラフトテープを貼った土台を準備し、参加者が折り紙で兎を折り土台に貼り付け、紐を付けて完成となります。土台が無くなってしまふほど、親子連れや他県の方々が多く参加され大盛況でした。



●表具:表具教室

伝承館には、メンバー全員の作品を展示しました。伝承館の為に展示場所に合う短い掛け軸を準備するのが困難でしたが、違和感なく展示出来たと思います。私達の教室では、会員を増やし、先輩から受け継いできた加工方法を基に掛け軸の作り方等の伝統技術を伝えることで、健康で生きがいある生活を送っています。後輩との交流を図り文化向上に頑張っていきたいと思います。



●竹細工:竹細工教室

私達の教室は、竹林から竹を切り出すところから始まり、割る、裂く、組むなどし、作品にしていきます。地域の文化祭では、体験教室も行うなど、先人達の技術を受け継ぎ、竹の魅力を日々感じながら楽しく活動しています。



●陶芸:陶芸教室

陶芸教室では、常磐焼を楽しみながら活動しています。粘土を練る、型を作る、乾燥、焼く…等気を使う作業も多くあり、作品を窯から出す時が陶芸の醍醐味で、生きがいでもあります。会員同士の交流を深めながら向上し教室の発展を目指し、日々頑張っています。



ブースNo.
12

米子市老人クラブ連合会①

展示
実演
体験

クラフトテープ作品(金魚)

令和3年度の県老連主催の女性リーダー研修会(体験型研修会)に参加し、クラフトテープを使った金魚作りを体験しました。この金魚作りは、今回のブースでの実演・体験の主軸となる展示です。

使用したクラフトテープは、幅15mmのものをそのまま使い、竹の葉を銀色に着色して金魚を吊るして見本として展示しました。他にも、会員が地域で仲間と共に作成した作品や、個人で制作した書画、手作り作品の絵手紙やくす玉、タペストリーなどなども展示しました。

私自身の強い思いで始めた出展ですが、来場者にお声掛けし、体験していただき、持ち帰ってもらうことができました。参加者の皆さんに大変喜んでいただき、実演に携わったスタッフをはじめ、関係者の皆さんにも大変感謝しています。「楽しかった」という一言に、すべてが詰まっていると感じました。



ブースNo.
13

米子市老人クラブ連合会②

展示

米子市の継承文化&弥生遺跡発掘写真展

この度、米子市の伝統文化を紹介する機会を得て、関係者の皆様の温かいご協力とご支援のおかげで、無事に発表を行うことができました。多くの方々にご好評をいただき、心より感謝申し上げます。

今回の出展内容は、私、木村定雄が撮影した写真や資料を展示しました。展示作品は次の通りです。「白鳥の楽園」「八朔大蛇綱引き神事」「残雪の逆さ大山」「夜見ムラのトンド神事」「特殊な水平線虹」「皆生ムラ大蛇と大亀神事」「目久美遺跡発掘(楡の炭化木)」「出雲大社遺跡御柱」「よなご八十八景(集)」の資料解説など。

これらの展示を通じて、来場者の皆様に『新たな発見だった!』などの興味を持っていただけたことを大変嬉しく思います。今後も地域の伝統文化や自然の美を伝える活動を続けてまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。





ブースNo.
14

境港市ことぶきクラブ連合会

展示

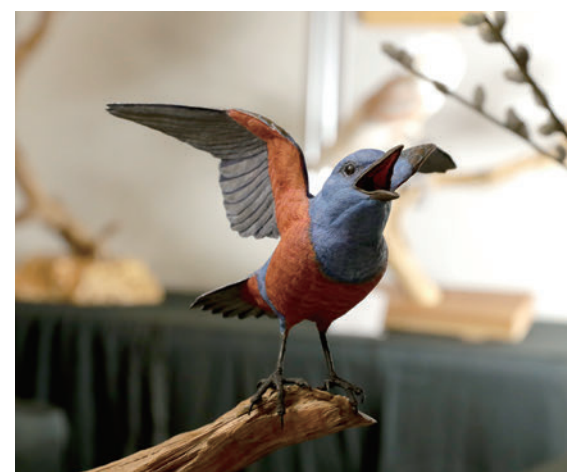
実演

体験

【バードカービング境港クラブ】バードカービング、【藍慈(あじ)彩(さい)】弓浜紼

●バードカービング

バードカービングは、一つの木片から掘り出し彩色し、鳥を捕獲するのに「おとり」として使用するため野鳥の姿をリアルに表現した物で、野鳥彫刻という言葉が生まれて、日本には1979年に初めて紹介され広まっています。工具は、切り出しナイフと彫刻刀があれば作ることが出来ます。細部の表現をするためには、電動工具や焼きゴテを使用し、彩色にはアクリル絵の具が最適で、水性なので扱いやすく乾燥が早く、油絵具ほど退色しません。19日当日は雨の中多くの皆様が来展され、作品を見て剥製と見間違えたとの感想を頂き誇りに感じ、今後も創作意欲に燃え新作へ取組中です。時間が有りましたら小鳥達に会いに来て下さい。



●弓浜紼

境港市の弓ヶ浜の砂地は綿の栽培に適し、良質の白州綿として評価が高く「弓浜紼」は「浜紼」とも言い、倉吉の「倉吉紼」、安来の「広瀬紼」と共に山陰の三大紼の一つです。弓浜紼は、江戸後期から大正時代にかけ全盛期を迎えた以後、昭和五十年には国の「伝統的工芸品」に指定され、昭和五十三年には「鳥取県無形文化財」に指定されました。現在では地元の関係者で構成する「弓浜紼保存会」が収集品の整理や、公民館での普及講習会を開催するなど、紼の保存や技術の継承に向けて取り組んでいます。地域で大切に守られてきた伝統の織物を、多くの方々に知って頂き、体験にも興味を持って取り組まれ大変に有意義な大会でした。



ブースNo.
15

南部町老人クラブ連合会

展示

藁細工、鰻絵、一式飾り

藁細工作品と鰻絵をそして、法勝寺宿自治会の方が法勝寺中学校の生徒を指導して作られ現在、法勝寺の常設展示場にある一式飾り「クロスカウンター(金物一式)」を展示しました。「藁細工作品」正月のしめ飾りも少なくなってきた昨今ですが、昔はどの家でも冬の楽しみとして作っていたね!との感想を多くいただきました。

また、「鰻絵」職人が残す凄文化財ですね!との声が多くありました。「一式飾り」は、全国でも多く残っていない町民文化一つです。形が現代風になっても続けて欲しい!との声をいただきました。



ブースNo.
16

伯耆町老人クラブ連合会

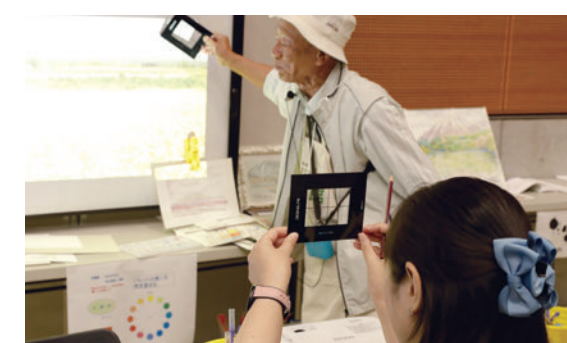
展示

体験

伯耆町富士と鬼をテーマの美術作品、風景画スケッチ

伯耆町のブースでは、伯耆富士をテーマにした水彩画の体験コーナーを設け、来場者の方に伯耆町から見える四季を通した大山を画像で見ながら、水彩画を描いてもらいました。

指導は伯耆町大内の画家大前義弘さんとスケッチ同好会の皆様が担当し、実際に水彩画に挑戦された方からは、「思いもよらない嬉しい体験ができました!」「丁寧に教えてもらえて自分でもびっくりする絵が描けました!」「大山がもっと好きになった!」「絵は苦手だったが好きになりました!」と大変喜ばれていました。中でも90代の女性の方が、「人生で初めて絵を描かせていただきました!夢がかないました!」と涙を浮かべて喜ばれていました。県内外のたくさんの方に感動してもらえスタッフ一同感激しております。





ブースNo.
17

日吉津村老人クラブ連合会

展示

活動内容の紹介(広報部、体育部、女性部、友愛部)

私達の老人会は、広報、体育、女性、友愛の4部会でそれぞれ年間計画を立て活動しています。女性部は、認知症予防の取組みとして「シトラスリボン」「金魚」をクラフトテープで作り、地域の高齢者に見守りを兼ね配布しています。

この度は、4部会の活動と女性部の物づくりも伝承館へ出展しようと、3月頃より準備に入り、作り方も併せ出展しました。来場者の関心も高く、大変好評で、今後の活動の励みになりました。

伝承館の出展・出演は共に素晴らしく感動しました。私達スタッフ一同 いつまでも心に残る「地域文化伝承館」であったと思います。



ブースNo.
18

大山町老人クラブ連合会

展示

体験

第5明生会の活動紹介、^{オー}リングテスト

第5明生会の世代間交流では、A2サイズの写真を6枚展示し、またDVDでの説明も行いました。チラシは1,000枚配布し、250人の方々が足を止めて展示をご覧くださいました。

「^{オー}リングテスト」の実演では、幼児の笑顔と怒顔の絵を男女2組用意し、体験者には親指と人差し指で丸(英語で「O」)を作ってもらいました。私がその「O」を両手で引っ張り、開かないことを確認した後、左手で怒顔の絵を指さすと、右手の「O」が簡単に開きました。同様に、笑顔の絵を左手で指さすと、「^{オー}リング」に力が入り、私が両手で力を入れて引っ張っても開きませんでした。参加者の皆さんは不思議がっていました。

「良い物にはOに力が入り、悪い物には力が入らない」という説明をしたところ、3分の2以上の方々が理解し、納得して喜ばれていました。



ブースNo.
19

日南町老人クラブ連合会

展示

【福万来堂福会】パッチワーク、服リメイク

30年位前より、パッチワークと服のリメイクなどの作品作りを続けており、伝承館には、購入した物や母の着物を使って毎日少しずつコツコツと作成したおかげで、沢山の作品を展示することが出来ました。また、この度の出展にあたり、木材でディスプレイハンガーを手作りするなど、見ていただきやすい工夫もしました。

多くの方に見ていただけたことが一番の喜びです。出来た時の喜びと多くの方に見ていただけた喜びは、これからの作品づくりの励みになります。指先を使う等細かな作業もあり、認知症予防にも効果的です。皆さんも是非作ってみてはいかがでしょうか。



ブースNo.
20

日野町老人クラブ連合会

展示

おしどりの住む町・鳥取県日野町

日野町と言えば、開運と金運の「金持神社」や、夫婦円満の象徴「野鳥のオシドリ」が有名です。

この度、老人クラブの有志が集まる「オシドリグループ」と共に、全国からお越しの皆様におしどりの生態などを紹介するため「地域文化伝承館」にて展示を行いました。

展示にあたっては、「オシドリグループ」、「日野町産業振興課」、「日野町社会福祉協議会」のご協力をいただき、オシドリの写真や生態に関する説明パネル、DVD放映などを行いました。また、特急「やくも」なども展示に加え、多くの来場者にお楽しみいただきました。

その結果、用意した資料が足りないほど多くの方々にお願いいただき、誠にありがとうございました。全国で一番のオシドリ飛来地である日野町では、この冬もオシドリをはじめ、約1,000羽の野鳥が越冬しています。ぜひ、この機会にオシドリに会いにお越しください。





ブースNo.
21

江府町老人クラブ連合会

展示

池の内常盤会60年のあゆみ写真展

池の内常盤会は、鳥取県の第一号の老人クラブとして発足しました。昨年、発足60周年を迎え、記念事業として当クラブが地元で開催した写真を地域文化伝承館で展示させていただきました。また写真の他に、周年の記念誌、各種表彰状、組織表などの資料も展示させていただきました。

県外からの来場者も多くあり、行政や老人クラブ関係など団体活動をされている方に興味を持って声をかけていただけました。来場者の方々と情報交換を行う中で、年間事業を継続的に実施することの大変さを共有しました。しかし、自分たちの活動を改めて知っていただくことで、活動を続けていくための大きな活力を得ることができました。



ブースNo.
22

鳥取県老人クラブ連合会

体験

教室

とっとり方式認知症予防プログラム、スマホコーナー

鳥取県老人クラブ連合会では、高齢者のフレイル予防・認知症予防として「とっとり方式認知症予防プログラム」を地域の活動に取り入れていただくため普及啓発を進めています。

今回のブースでは、鳥取大学医学部の先生方による「嗅覚検査」と「脳年齢検査」を行いました。予想以上に多くの方が検査を受けておられ「認知症の早期発見になる」と大好評でした。また、スマホコーナーも設け、アプリの登録方法や使い方、困りごとなどをNCNの方々に教えていただきました。LINEについての相談が多く、丁寧な説明を受け日頃のお困りごとを解決し喜んでおられました。



ステージ出演コーナー

37団体(出演順)

■ステージスケジュール

11/19(土)	11/20(日)	11/21(月)
オープニングアクト 松風軒 倉山	オープニング 江府町 下蚊屋荒神神楽保存会 明神社	オープニング 境港市 Hula Halau Pikake Terunuma
1 北栄町 瀬戸獅子舞保存会	1 湯梨浜町 泊貝がら節保存会	1 北栄町 北条砂丘水くみ唄保存会
2 若桜町 グループ・くるくる	2 境港市 外江明生踊りクラブ	2 南部町 南部町老人クラブ連合会 女子踊りの会
3 日吉津村 ひえづフラ同好会	3 岩美町 岩井ゆかむり唄保存会	3 鳥取市 鳥取市老人クラブ連合会 女性委員会
4 県老連 とっとり方式認知症 予防プログラム	4 八頭町 米岡神社麒麟獅子舞 保存会	4 八頭町 船岡野郎頭
5 日吉津村 あじさいの会	5 ゆるだんすスクール	5 県老連 とっとり方式認知症 予防プログラム
6 鳥取市 気高町老連民踊部	6 智頭町 新田相生会	6 大山町 中山いさい踊り保存会
7 米子市 淀江さんこ節保存会	7 倉吉市 関金田植唄おどり 伝承保存会	7 南部町 会見小松谷盆踊保存会
8 三朝町 小鹿ふるさと会	8 境港市 境さんこ節保存会	8 倉吉市 コーラスたんぼぼ
9 琴浦町 逢束盆踊り保存会	9 米子市 米子がいな万灯振興会	9 湯梨浜町 ローカヒ・カ・マカナ
10 境港市 鬼太郎音頭保存会	10 米子市 米子がいな太鼓保存会	10 北栄町 北条砂丘太鼓 「北条デューン」
11 倉吉市 倉吉市老連踊り教室	11 伯耆町 菜の花合唱団	
12 北栄町 コール・ウィンドミル	12 八頭町 山田盆踊り保存会	



11/19(土)

オープニング
アクト

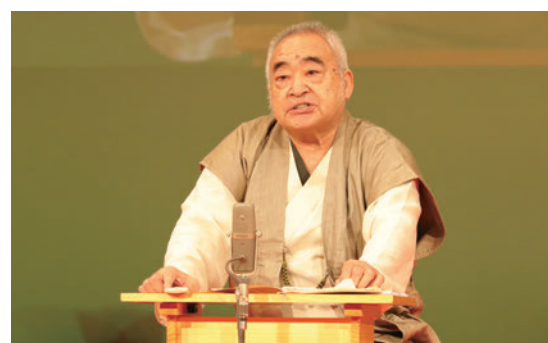
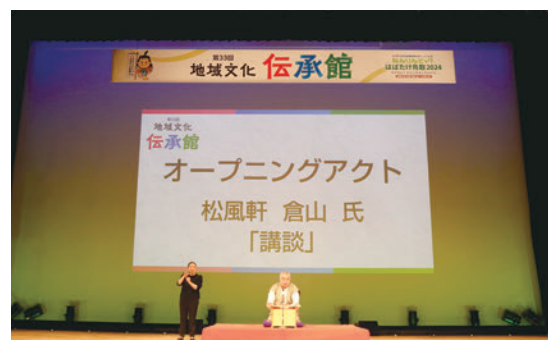
松風軒 倉山

講談

講 談

倉吉市在住の講釈師、松風軒倉山(しょうふうけん そうざん)さんは、倉吉市西町にある国登録有形文化財の「豊田家住宅(豊田亭)」で、倉吉市にちなんだ歴史講談を上演しています。講談の題材には「天下の豪商・淀屋」「里見八賢士」「大江磐木代君(おおえいわしろぎみ)」など、地元にゆかりのある物語が多く、観客を楽しませています。

地域文化伝承館のオープニングアクトでは、創作講談『猛牛 琴桜』を披露し、観客を魅了しました。この講談は、倉吉市出身の初代琴桜関の少年時代をテーマにしたもので、タイトルは「桃太郎少年 琴桜」。琴桜の生まれ故郷である倉吉では、彼の少年時代を知る人も多く、講談師は地元の人々からさまざまなエピソードを聞き、それらをもとに講談を創作したそうです。



11/19(土)

1

瀬戸獅子舞保存会

獅子舞他

伯耆神楽

瀬戸神社に伝わる獅子舞と鳥取県中部地区で神職が拝殿で舞う伯耆神楽七座を伝承していくため練習に励んでいます。

伝承館では、祓い清め無事を祈る「櫛の舞」、三宝にコメを載せ五穀豊穰と繁栄を願う「三宝の舞」、剣を振り回し邪悪なものを祓い清める「剣の舞」と三座を舞い、伝承館の成功を祈念して舞い踊りました。

いつもは、神社の拝殿で奉納しており狭い空間ですが、この度は広い舞台で限られた時間での演出だったため、舞台見えするよう大きな動作にしたり省略するなど工夫して舞い踊りました。まずまずの出来ではなかったかと自己満足しております。



11/19(土)

2

グループ・くるくる

若桜小唄

踊 り

昭和5年に国鉄若桜線全線開通を記念して作られた若桜小唄を復活させるため、平成20年ごろにグループを結成し、その後、若桜小唄だけでなく、健康を維持するためストレッチ体操をはじめ、レクリエーションダンスなど仲間づくりの場として活動をしています。

この度、10名の会員で披露させていただきました「若桜小唄」は、継承されていた集落が高齢化し途切れる前に教えていただき、習得した大切な踊りです。皆様に披露出来た事感謝しています。



11/19(土)

3

日吉津フラ同好会

涙そうそう、うるわしの浜辺

フラダンス

自分らしく美しく背すじをのばした姿勢でいたい。健康でステキに年を重ねたい。そうしてはじめたフラダンス。

フラの仲間と会うこと、話すこと、フラのレッスンは心から楽しいと感じます。ハワイの音楽をききながら裸足で大地を踏みしめ、自然や思いを手の動きで表現します。

今回は、日本語の曲で「涙そうそう」「うるわしの浜辺」を踊りました。付けまつ毛にウィッグ、マニキュアをしていつも以上にキレイに披露出来たと皆満面の笑みで喜びました。一生懸命踊った疲れが出た方もいましたが、この出演で更に仲間の絆が深まりました。





11/19(土)

4

鳥取県老人クラブ連合会

体操・知的活動体験

とっとり方式認知症予防プログラム

鳥取県老人クラブ連合会では、令和2年度から高齢者のフレイル予防・認知症予防として「とっとり方式認知症予防プログラム」を地域の活動に取り入れていただくため普及啓発を進めています。このプログラムは、鳥取県が日本財団と共同で開発した鳥取県独自のプログラムで、「運動」「座学」「知的活動」を組み合わせた一連のサイクルを継続して行うことで、「認知機能」の改善や「身体機能」の向上の効果がみられます。

今回のステージでは、作業療法士 安井愛美さん(大山リハビリテーション病院)の指導のもと、「とっとり方式認知症予防プログラム」の運動と知的活動の一部を会場の皆さんと一緒に楽しく体験することができました。



11/19(土)

5

あじさいの会

大正琴演奏

鳥取砂丘、サライ

大正琴グループあじさいの会は、公民館活動の一環として平成3年にスタートし、早33年が経過しました。月2回地域の公民館で元気に賑やかに練習しています。

毎年近隣の市町村のイベントや音楽祭等に出演したり、高齢者福祉施設等の訪問活動も行っています。また、東京NHKホールで開催された「大正琴の集い」でも発表しました。更には、人生100年時代を迎え3世代で使える楽器として、大正琴の紹介を兼ねて小学校から高校、養護学校の授業にも出かけています。

この度出演をきっかけに、新たな刺激を受け、これからは健康で楽しく一層頑張っていこうと決意を新たにしました。



11/19(土)

6

気高町老人クラブ連合会 民踊部

踊り

貝がら節

気高町老人クラブ連合会 民踊部は、貝がら節を手踊りと大傘を使用して、楽しく踊らせていただきました。

踊りの始めには、観客席に空席が目立っていましたが、踊りが終わるころには観客席が満席となり皆様に喜んでいただけました。

私達出演者も、皆様に喜んでいただけた事、大変嬉しく思います。今後、気高町浜村の貝がら節が全国に広がっていくことを願っています。



11/19(土)

7

淀江さんこ節保存会

郷土芸能

淀江さんこ節

淀江さんこ節保存会は、その保存継承を目的として活動していますが、会員の多くが65歳以上です。後継者育成の意味から地域の小学校、高校の授業カリキュラムに組み入れてもらうとともに、地域の公民館活動として小中学生への指導育成を行っています。今回は、淀江さんこ節の曲に合わせて、おめでたい「銭太鼓」、ユーモラスな「壁塗り踊り」、華やかな「傘踊り」を宇田川青少年育成会の小中学生と米子白鳳高校郷土芸能部と一緒に、裏方も含めて総勢60人で出演しました。

芸能は舞台が人を作ると言われます。下は小学2年、上は80歳が同じ舞台に立って、互いに学び、教え合うことは大きな意義があると感じました。





11/19(土)

8

小鹿ふるさと会

新舞踊

御座敷小唄、ソーラン渡り鳥、関東一本メ、おんな船頭唄、三朝小唄

小鹿ふるさと会は、昭和56年に発足し、この度、栄誉あるねんりんピックの「地域文化伝承館」にて披露させていただきましたことを、心より嬉しく思っています。これまで長年にわたり、慰問活動などを行ってきましたが、伝承館での出演を契機に、今後さらに頑張ろうという気持ちが一層強くなりました。

私たちの踊りは新舞踊であり、場違いではないかと不安もありましたが、舞台に立った瞬間、たくさんの拍手や声援、手拍子をいただき、踊り終わった後には出演者一同、感動で胸がいっぱいになりました。

このような素晴らしい舞台に出演できたことは、一生の思い出です。今後もまた機会があれば、ぜひ皆さんに私たちの踊りを見ていただけるよう、努力していきます。



11/19(土)

9

逢束盆踊り保存会

踊り

逢束盆踊り

保存会は、昭和35年に結成され、現在保存会の会員は23名です。

逢束盆踊りは、空也上人が広めたといわれる念仏踊りに、日本各地から伝わった踊りが加わり今の形になり、平成30年には、鳥取県無形民俗文化財に指定されました。

この度のステージでは、「大文字茶屋踊り」「志賀団七踊り」「丁半踊り」「西郷音頭」「伊勢音頭」を披露しました。

去年から準備をしてきたので感慨深く、会員の絆が一層深まったと感じました。これからも健康に気をつけて元気でいつまでも踊り続けたいと思います。



11/19(土)

10

鬼太郎音頭保存会

踊り

鬼太郎晴だね・鬼太郎音頭

鬼太郎音頭は、境港市が妖怪の町として名を挙げた昭和60年に「ゲゲゲの鬼太郎」の歌で踊っていましたが、平成5年の水木しげるロード完成を記念して、当時境港市松ケ枝町在住の荒木千重子さんが作曲し在郷の作曲家石田光輝氏が曲を付けられて、「鬼太郎音頭」と曲名を改め、現在では色々なイベントの最後には、市民の皆様全員で踊っています。

普及活動は、週に3回市内の「しおさい会館」で実施し、若い方も参加し楽しく踊っています。伝承館ステージは、会員9名が気持ちを一つにして舞台へ上がると、客席からは大きな手拍子が沸き上がり、大変嬉しく感激しました。今後は若い方を勧誘し頑張っていきたいと思います。



11/19(土)

11

倉吉市老人クラブ連合会 踊り教室

劇と踊り

劇と踊りによる打吹羽衣伝説

打吹音頭は、昔から伝わる天女と童子の美しい伝説を伝承し、地域の活性化振興を図るため生まれたもので、作詞・作曲・踊りすべて市民によるものです。

倉吉を全国の方に知っていただく、大きな舞台で発表したのは今回が初めてでしたが、出演させていただくことに感謝し、皆がこの日までに「元気で、楽しく、美しく!」を目標に日々練習に励んできました。

私達にとって、一生に一度の晴れ舞台となり、元気で笑顔で踊らせていただきました。打吹音頭を継承していくため、元気で踊り続けられるよう、日々の生活を楽しく過ごしていきたいと思います。





11/19(土)

12

コール・ウィンドミル

コーラス

キミがいれば、ありがとう、スイカの名産地、貝がら節、ふるさと

北栄町で活動している女声合唱団で、メンバーは現在20名ほどです。日頃は、女声合唱曲集の中の曲を歌っていますが、今回は、鳥取県をテーマに選曲しました。

漫画王国鳥取にちなんで、名探偵コナンのテーマ曲「キミがいれば」、ゲゲゲの女房の朝ドラの曲「ありがとう」、北栄町の大栄スイカにちなんで「スイカの名産地」、鳥取県で有名な民謡「貝がら節」、童謡唱歌のふるさと、鳥取といえば「ふるさと」の5曲を歌いました。

改めて、鳥取県の魅力を発見したように思います。私達は、30代から80代と幅広い年齢層の合唱団です。息の長い活動を目指して頑張ります。



11/20(日)

オープニング

下蚊屋荒神神楽保存会 明神社

神楽

八重垣能のおろち退治

鳥取県西部地区に位置する江府町は、国立公園大山の南側に面するおよそ2,500人の小さな町です。西日本最大級を誇るブナ林が広がる一帯は奥大山と呼ばれています。下蚊屋は、大山寺と山陽、近畿方面を結ぶ大山振興の交通の要所として古くから栄えました。また、木地師の集落としても有名で明治初期頃までに盛んに生産されていました。

この度披露しました「下蚊屋荒神神楽」は、江戸末期から伝わる伝統芸能です。奥大山古道ウォーク等、各種イベントや新築等の祝い事など多方面で活躍しています。



11/20(日)

1

泊貝がら節保存会

民謡

泊貝がら節

今から約180年前、湯梨浜町泊地域の沖合にある日本海で「いたや貝」の大群が発生し、毎日のように大漁を記録していたと言われています。そのため、浜は大変賑わいを見せていたそうです。その頃から、漁師たちの間で自然に歌われ始めたのが「貝がら節」だと伝えられています。労働の厳しさと、大漁の喜びを伝える豪快さが特徴で、今日まで歌い継がれています。

現在では「いたや貝」は採れませんが、私たち保存会は故郷に伝わる「貝がら節」を守り続けるため、活動を行っています。また、泊小学校の4年生から6年生までの児童による保存会ジュニアを結成し、後継者の育成にも力を入れています。

伝承館のステージ発表の日まで、一生懸命練習してきました。



11/20(日)

2

外江明生踊りクラブ

踊り

境港踊り・境港小唄

境港踊りは、昭和21年から始まり、今年で78回になります。大漁祈願祭の神事の中で踊り海上安全や大漁豊年を祈願します。

境港小唄は、江戸時代に流行した端唄から派生した俗謡の小唄で、明治時代に作られ以後、境港市の郷土芸能である「境みなと祭」で披露し、今では毎年8月に開催される祭りには山車や提灯が町を彩ります。

艶やかなピンクの着物に、モミジの枝の造花を手にした踊りは、皆様より「一足早い紅葉を見せて貰った」とのお言葉を頂きました。誇らしくも責任の重さを感じながら、精一杯に踊らせて頂いたことは、一生の宝となり心に残る事でしょう。





11/20(日)

3

岩井ゆかむり唄保存会

民 舞

岩井ゆかむり唄

鳥取県東部に位置する岩井温泉で活動している「岩井ゆかむり唄保存会」は、主に公民館子供伝統文化教室の子供達の指導をし、踊りを継承しています。地域づくりの歯車になればと、地域行事にも参加し頑張っています。

「秘湯岩井温泉ゆかむり唄」は、1,200年と古くからありますが、踊りは発足して30年余りになります。湯治の徒然に多くの人達が湯の効能にあやかろうと、小さな柄杓で湯の面をたたき、調子を取りながら唄う奇習です。このことから、岩井温泉は別名「ゆかむり温泉」とも呼ばれています。

この度ステージに初めて立つ子供達の重圧を心配しましたが、感動と達成感に終わりこのような機会をいただけた事に感謝しています。



11/20(日)

4

米岡神社麒麟獅子舞保存会

獅子舞

麒麟獅子 本舞

麒麟獅子舞は、神社の祭りで神事として披露される伝統芸能ですが、地域に古くから受け継がれてきた文化の保存・継承に努めるとともに、各種イベントに参加してその認知度向上を図ることを目的に活動しています。

麒麟獅子の頭は、金色が多い中、私たち保存会の麒麟獅子は黒い獅子頭で数が少ないため、初めて見る方も多かったと思います。

県東部(因幡)と兵庫県但馬地方に伝わる麒麟獅子舞の文化を、県内外の多くの方々に知っていただく良い機会となりました。また、伝承館での出演に向けた練習風景もテレビ取材が行われました。

当日は、スクリーンに神社の写真やこれまでの活動の写真が映し出されるなどの演出が施され、最高の舞台となりました。



11/20(日)

5

ゆるだんすスクール

ダンス

ゆるだんす

最高年齢90歳。出演者平均年齢85歳を超えるダンスチーム。これが、私たち『ゆるダン』がみなさんにご覧いただきたかった人生の輝き方のひとつです。

伝承館では、時の名曲に合わせて美しく踊りました。会場が一体となり、音に合わせて、動きを合わせ、そして心を合わせる悦びが生まれた瞬間でした。

我々は、「ゆるいダンスで、希望をつなぐ」ことを心のど真ん中に置いています。ステージで踊る高齢者住宅の皆さんの中にある「生きがい」という希望、会場にお越しになっていた皆さんにとっては「あんな素敵な生き方がある」と思える希望。それぞれの希望がつながって、もっと希望あふれる鳥取県になっていく未来を創っていきます。そんな第一歩になるステージ。感謝の気持ちで溢れています。



11/20(日)

6

新田相生会

人形浄瑠璃

傾城阿波の鳴門

智頭町新田集落は、千代川の源流部にある静かな村。この村で明治7年(1874年)から150年にわたって伝承されてきた人形浄瑠璃をぜひ、多くの皆さんに観ていただこうと出演しました。

演目は「～ととさんの名は阿波の十郎兵衛、かかさんの名はお弓と申します～」のフレーズで知られる悲しい物語「傾城阿波の鳴門巡礼歌の段」です。

この上演に向けて4月から半年間、毎週土曜日の夜に集まって練習を重ねてきました。

展示ブースでの展示と合わせて私たちの村で伝承される人形浄瑠璃が少しでも知っていただけたなら幸いです。





11/20(日)

7

関金田植唄おどり伝承保存会

踊り

関金田植え唄踊り

鎌倉時代、倉吉市関金町大鳥居は、大山寺の領地に属していました。大山を中心に東西南北に鳥居が立てられ、そのうちの一つは、大山から東へ20kmの距離にある関金町大鳥居に建てられ、現在も祀られています。

当時、大山寺は強大な権勢を誇っており、農民たちは働いても働いても僧兵に収穫した米を奪われ、貧しく苦しい生活が続いていました。

関金地区の田植唄の基本的な歌詞には、大山寺の坊主たちを批判する内容が多く含まれており、田植え作業の合間に唄われていたと言われています。しかし、田植え作業も今では機械化が進み、この田植唄を唄う人々も少なくなりました。

「関金田植唄おどり伝承保存会」は、こうした庶民の暮らしに根ざした風俗民謡を舞踊として再現し、後世に伝えるための活動を続けています。



11/20(日)

8

境さんこ節保存会

小太鼓、唄、囃子、弦、踊り

境さんこ節、早さんこ節、境さんこ音頭

古来より境の港は、北前船の定期航路として栄え、船頭たちの唄う歌に独特の旋律で唄う飯盛り女の「おさん」の歌は、船頭衆をとりこにし、やがてその名を取って「さんこ節」と呼ばれるようになり安来節の元歌として唄い継がれ、現在で八代目に至っています。

地域に於いては、郷土芸能として春は「桜まつり」夏には「港まつり」で披露し、また地域の施設でも踊りを披露しています。平成29年には境港市より無形民俗文化財に指定されました。

いくつになってもイキイキと活動し、心身共に健康長寿・生涯現役が実感出来る大会で、このような発表の場が有る事で人との交流が増え、毎日の生活に張りが出て来ると実感しました。



11/20(日)

9

米子がいな万灯振興会

伝統芸能

米子がいな万灯

米子がいな万灯は、万灯を手のひら、額、顎、肩、腰に載せてバランスをとり、継竹を多く継いで、大きく湾曲した万灯を操るところが見どころです。伝承館での万灯披露では、小学生から高校生までの精鋭たちによる、大人顔負けの演技を披露することができました。また、舞台と客席の距離が近いため、迫力ある演技を間近でお楽しみいただけました。観客席からの温かいご声援も多く、観客と一体となった公演となりました。

今後さまざまな機会に万灯をご覧いただけることかと思いますが、さらに感動をお届けできるよう精進してまいります。

米子がいな万灯振興会は、来年度で40周年を迎えます。伝統芸能としての節目となる50周年に向け、万灯をますます盛り上げてまいります。



11/20(日)

10

米子がいな太鼓保存会

和太鼓

颯ver.2

昭和49年に誕生した米子がいな太鼓保存会は、郷土芸能が何一つなかった米子市に「全国に誇れる太鼓を」と言う熱意を持った11名の若者が中心となり結成されました。

今年、誕生から50周年を迎え、現在は小学生から大人まで全14団体、約140名で活動しています。

今回出演した「颯」連は、中学生のメンバーで構成されたチームで、若々しくエネルギッシュな演奏が特徴です。若い世代のパワーが太鼓の響きと共に、皆様のもとに届きましたら幸いです。これからも米子市の伝統芸能として、米子を愛する心、太鼓を愛する心を大切に技術の伝承をして参りたいと思います。





11/20(日)

11

菜の花合唱団

コーラス

大山賛歌、童謡メドレー、時代

菜の花合唱団(町老ク連グループ)の合唱は、菜の花に合わせたお揃いの黄色と伯耆町の観光名所の映像をバックに鳥取県にゆかりのある童謡唱歌など3曲を披露しました。合唱を聴かれた方から「町の優しさとあたたかさが伝わってきました。」「伯耆町にぜひ行ってみたい。」などの声をいただき、出演したメンバーからも「すごく緊張したが練習を重ねたのでうまくできました!」「とてもいい経験ができ、人生の刺激になりました。」と大成功の発表となりました。今回のステージ発表を通じて、伯耆町の魅力を全国の皆様にお届けできたことを大変嬉しく思います。参加者の皆様にとって、思い出とお土産となる素晴らしい体験となり、次の生きがいや健康づくりに繋がる発表となりました。



11/20(日)

12

山田盆踊り保存会

手踊り、傘踊り

作州心中、因幡大津絵、貝殻節、浪花節

山田盆踊り保存会は、大正初期から踊られ2度の中断を経て昭和52年に復活し、現在まで活動を続けています。普段は、8月14日に初盆の家に行き、供養の踊りを踊っています。

伝承館では、見た事のない方にも楽しんでいただけるよう精いっぱい踊りました。この度は、大変有意義な時間を過ごせ会員一同大変喜んでいました。



11/21(月)

オープニング

Halu Halau Pikake Terunuma

フラダンス

フラガール虹を、Kalakea/Anahola、Pua Sakura

フラ・ハラウ・ピカケ・テルヌマは、松江・鳥取・米子の各市と湯梨浜町で、広くハワイアンフラの教室を開き、ハワイの伝統フラを守りつつ、美しく優雅な踊りが出来るように日々練習に励んでいます。

伝承館では、60名で参加し、日本で大ヒットした「フラガール虹」と、森山直太郎さんの「さくら」をハワイ語に訳した「SAKURA」をお届けしました。一曲目はピンクの衣装でサクラをイメージし、二曲目はハワイの青い空をイメージしたブルーの衣装で踊りました。

心から楽しめたステージは、多くの方からお褒めの言葉を戴き、喜びを共にする事が出来、とても嬉しかったです。素晴らしい経験でした。



11/21(月)

1

北条砂丘水くみ唄保存会

踊り

北条砂丘水くみ唄

北条砂丘水くみ唄保存会は、メンバー13名で地域の行事や県のイベント等、積極的に参加しています。

北条砂丘にまだ冠水施設がない頃、灼熱の太陽の下、行われた過酷な水汲みは、「嫁ごろし」とも言われました。

若嫁にとっては、重労働でした。そんな苦勞を、後世に語り継ぐと昭和53年に作られた「水くみ唄」を感謝の気持ちを含めて踊りました。

大きな舞台で踊るきっかけを頂いたことで、今後も皆で継承活動を頑張っていこうと心新たにしました。





11/21(月)

2

南部町老人クラブ連合会 女子踊りの会

踊り

南部まいちょこ音頭

南部町は、2004年10月1日に西伯町と会見町が合併して誕生の際、町民歌と町内外の公募から「南部まいちょこ音頭」が生まれました。まいちょことは、南部町の方言で「良い具合」「良くできた」時などに使用します。その小気味のいい音頭は、小・中学校の運動会等で大切に受け継がれてきました。

「女子踊りの会」は、南部町老人クラブ連合会で踊りの好きなメンバーが集まり、月2回の練習を重ねながら芸能大会等に参加し、フレイル予防も併せ地域貢献と音頭の継承を行っています。伝承館では、その練習の成果を披露させていただきました。



11/21(月)

3

鳥取市老人クラブ連合会 女性委員会

傘踊り

しゃんしゃん傘踊り(きなんせ節)

8月の鳥取の風物詩「鳥取しゃんしゃん祭り」今年も賑やかに開催されました。そのルーツは、鳥取県東部地方に古くから伝わる雨乞い踊り、「因幡の傘踊り」ですが、これを大衆化し誕生したのがしゃんしゃん傘踊りです。現在では「きなんせ節」「鳥取しゃんしゃん傘踊り」「平成鳥取音頭」「しゃんしゃんシャングリラ」の4曲が踊られています。

今回、私達は、「きなんせ節」を踊りました。この日の為に、心を合わせて練習してきました。ガッツだけは誰にも負けない60代から80代の自称若い(?)会員達です。

若いころを思い出しながら、精一杯踊らせていただきました。この機会を通して相互の絆がより深まったように感じました。



11/21(月)

4

船岡野郎頭

エレキギター演奏

ベンチャーズ、寺内タケシ他

青年団時代に結成したバンドで一時休息の時代もありましたが、約50年間エレキギター演奏を楽しんでいます。平均年齢76歳ともなれば覚えることより忘れる曲の方が多くなっていますが、週一度 休むことなく練習を行っています。地域で行われる納涼祭など声がかかれば出演し皆様に喜んでいただいています。

伝承館に出展・出演団体の皆様がとてもイキイキとされており、健康寿命100歳と言われている今、我々も目標を持ち頑張っていきたいと思いました。



11/21(月)

5

鳥取県老人クラブ連合会

体操・知的活動体験

とっとり方式認知症予防プログラム

鳥取県老人クラブ連合会では、令和2年度から高齢者のフレイル予防・認知症予防として「とっとり方式認知症予防プログラム」を地域の活動に取り入れていただくため普及啓発を進めています。このプログラムは、鳥取県が日本財団と共同で開発した鳥取県独自のプログラムで、「運動」「座学」「知的活動」を組み合わせた一連のサイクルを継続して行うことで、「認知機能」の改善や「身体機能」の向上の効果がみられます。

今回のステージでは、作業療法士 仲田奈生さん(YMCA米子医療福祉専門学校)の指導のもと、「とっとり方式認知症予防プログラム」の運動と知的活動の一部を会場の皆さんと一緒に楽しく体験することができました。





11/21(月)

6

中山いさい踊り保存会

踊り

中山いさい踊り

地域の伝統的な盆踊り「中山いさい踊り」を伝承館で披露することになったきっかけは、昨年の支部運動会での総出のいさい踊りの光景でした。参加者は「うちの集落でも盆に踊る」「他の集落でも」「子どもの時から踊っている」と語り、地域の伝統が感じられました。来年秋の連ドラの主人公、小泉八雲氏がこの踊りに感動したこともあり、この伝統をさらに広める方向で進めたいと考えています。

ステージ発表では、保存会の皆さんのご協力をいただいての練習、揃いの浴衣、帯、菅笠、草履、唄と太鼓に合わせて踊りました。大山町老人クラブ連合会では、応援団バスを仕立てて応援に行きました。地域文化にふれる良い機会になりました。



11/21(月)

7

会見小松谷盆踊保存会

踊り

小松谷盆踊り、バンバ踊り

会見小松谷盆踊りは、戦後の復興から高度成長期にかけて、過去の語り草の世界へ忘れ去られようとしていましたが、我が町に生まれた庶民文化は伝統芸能の世界に再度登場し、昭和41年の町民盆踊り大会から同年に保存会が結成されました。平成7年4月鳥取県指定無形民俗文化財に指定され、基本に忠実に、習熟に努めています。

地元中学校においては、後継者養成の目標を掲げ、体育祭で全校生徒による総踊りを行っています。また、私達は、町民盆踊り大会開催に向けての毎月1回練習を続けています。この度の出演を通じて今後も、伝承活動を続けていきたいと思ひます。



11/21(月)

8

コーラスたんぽぽ

コーラス

もみじ、大黒さま、はなさかじい、ふるさと、切手のないおくりもの、大山賛歌

現在約25人のメンバーで運営・活動している「たんぽぽ」は、今から23年前、倉吉市の生涯学習の一環として希望者を募り結成されました。メンバーの年齢層は60代から80代が中心で、童謡・唱歌をはじめ、ポップスやクラシック、歌謡曲、最近流行りの歌など、さまざまなジャンルの曲を歌っています。指導者である鳥取県ピアノ指導者協会の会長、尾坂俊恵先生の素晴らしいリードのもと、楽しい会となっています。

歌うことが健康づくりや仲間づくりに役立っており、今回改めて「聞いていただく楽しさ」と「歌う楽しさ」を感じることができました。



11/21(月)

9

ローカヒ・カ・マカナ

フラダンス

涙そうそう、見上げてごらん夜の星を、カイマナヒラ

湯梨浜町は、1996年からアメリカのハワイ州ハワイ郡と姉妹都市提携しています。私達は、地元湯梨浜町を中心に、ハワイの伝統文化であるフラを楽しく学び、笑顔でレッスンしているグループです。

地域文化伝承館では、30代から80代のメンバーで、皆様に馴染みのある曲を踊りました。ハワイ語と英語の「見上げてごらん夜の星を」、日本語の「涙そうそう」、ハワイ語の「カイマナヒラ」の3曲です。

いつもは別々にレッスンしているメンバーも、当日はみんなで一丸となって踊ることができ、メンバー同士の親睦も図られ、とても楽しい充実した経験となりました。





11/21(月)

10

北条砂丘太鼓「北条デューン」

和太鼓

北条砂丘太鼓

旧北条町に古くからある北条砂丘太鼓は、干ばつに苦しみ、「北条砂丘の嫁ごろし」とまで言われた水くみ労働にあえぐ農民が、雨乞いとして夜ごと砂丘の高浜で打ち鳴らしたと伝えられています。広い砂浜を伝わって近隣の村々までとどろきわたり、「悪い子はいないか、なまけものの子はいないか」などと妖怪がほえているのだと言って、子どものしつけや勉学の励ましにしたと言われます。

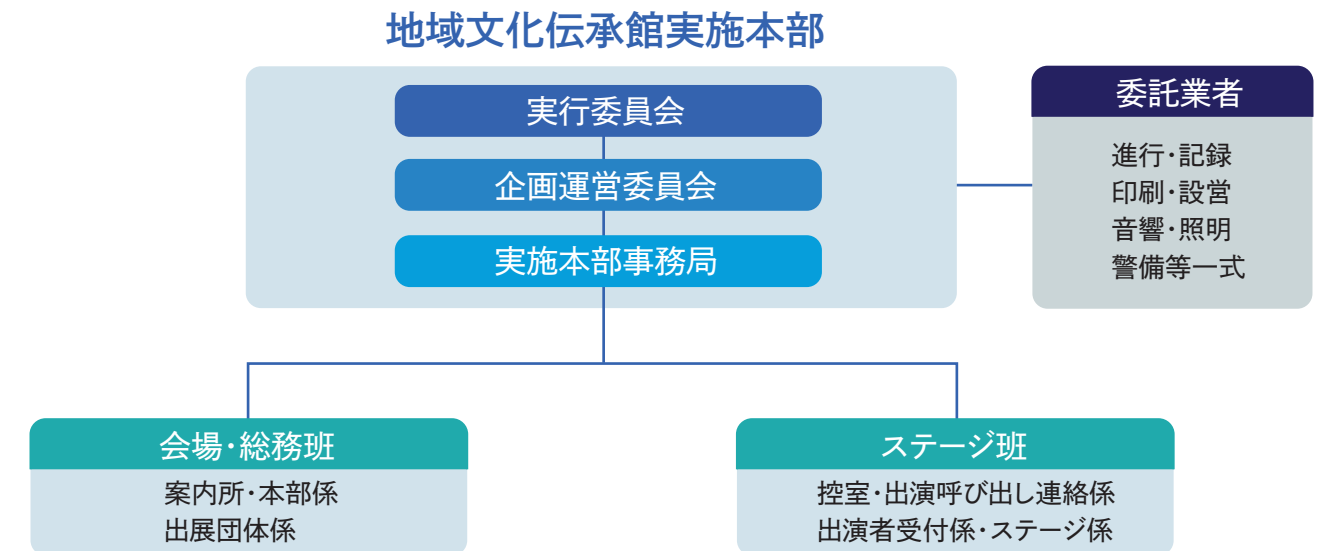
私達、北条デューンは、6年前に活動を再開し、地域の祭りや芸能発表会など各種イベントに出演したり、地元のこども園などで指導をしています。園児たちは、行事等で演奏して北条地区の懐かしい音色を住民に届けています。

伝承館での経験を活かし、今後も地域の伝統芸能を絶やすことなく伝承していきたいと思っています。



運営組織

■運営組織図



■実施本部

地域文化伝承館実行委員会

役 職	氏 名	所 属 ・ 役 職
委 員 長	岡 森 裕	鳥取県老人クラブ連合会会長
副 委 員 長	木 村 定雄	鳥取県老人クラブ連合会副会長
委 員	山 本 章	鳥取県老人クラブ連合会副会長
	山 口 博敬	鳥取県老人クラブ連合会副会長
	佐 竹 ふみ代	鳥取県老人クラブ連合会女性委員長
	中 澤 博之	岩美町老人クラブ連合会会長
	山 本 賢二	若桜町老人クラブ連合会会長
	葉 狩 健一	智頭町老人クラブ連合会会長
	水 野 彰	湯梨浜町高齢者クラブ連合会会長
	田 栗 幸人	三朝町老人クラブ連合会会長
	吉 田 康博	北栄町老人クラブ連合会会長
	榎 田 勝充	琴浦町高齢者クラブ連合会会長
	川 口 昭一	境港市ことぶきクラブ連合会会長
	庄 倉 三保子	南部町老人クラブ連合会会長
	米 田 述史	伯耆町老人クラブ連合会会長
	吉 崎 勇	日吉津村老人クラブ連合会会長
	清 見 久夫	大山町老人クラブ連合会会長



運営組織

■地域文化伝承館実行委員会

役 職	氏 名	所属・役職
委 員	大塚 武史	日南町老人クラブ連合会会長
	勝瀬 節雄	日野町老人クラブ連合会会長
	加持谷 典範	江府町老人クラブ連合会会長
	松田 繁	鳥取県社会福祉協議会常務理事
	吉野 知子	ねんりんピックはばたけ鳥取2024実施本部事務局 次長
	澤田 和明	鳥取県 長寿社会課長

■地域文化伝承館 企画運営委員会

役 職	氏 名	所属
委 員 長	水野 彰	湯梨浜町高齢者クラブ連合会
副 委 員 長	足立 勝也	境港市ことぶきクラブ連合会
委 員	山根 正輝	鳥取市老人クラブ連合会
	中山 則行	鳥取市老人クラブ連合会
	大村 益康	八頭町老人クラブ連合会
	宍戸 明男	倉吉市老人クラブ連合会
	木村 定雄	米子市老人クラブ連合会
	庄倉 三保子	南部町老人クラブ連合会
	兼本 修二	日吉津村老人クラブ連合会
	杉原 俊雄	大山町老人クラブ連合会
	加持谷 典範	江府町老人クラブ連合会
	西小路 聡	ねんりんピックはばたけ鳥取2024実施本部事務局
	田中 紀香	鳥取県 長寿社会課

■地域文化伝承館 実施本部事務局

役 職	氏 名	所属・役職
常 務 理 事	松田 繁	鳥取県老人クラブ連合会常務理事
事 務 局 長	朝倉 香織	鳥取県老人クラブ連合会事務局長
局 員	柳谷 洋子	鳥取県老人クラブ連合会活動推進員
	金岡 正恵	鳥取県老人クラブ連合会活動推進員
	柳川 真紀	鳥取県老人クラブ連合会活動推進員

■運営スタッフ

■総務班(本部、案内係) 事務局担当:金岡

役 職	氏 名	所属
全体管理 責 任 者	岡森 裕	鳥取県老人クラブ連合会
	松田 繁	鳥取県老人クラブ連合会
リーダ ー	水野 彰	湯梨浜町高齢者クラブ連合会
	足立 勝也	境港市ことぶきクラブ連合会
サブリーダ ー	西坂 修明	米子市老人クラブ連合会
ス タ ッ フ	湯浅 明美	境港市ことぶきクラブ連合会
	垂水 英俊	南部町老人クラブ連合会
	太田 秀明	伯耆町老人クラブ連合会
	松原 茂春	伯耆町老人クラブ連合会
	青木 奎司	大山町老人クラブ連合会
	林 昭富	倉吉市老人クラブ連合会

■ステージ班(控室、ステージ誘導係) 事務局担当:柳谷

役 職	氏 名	所属
リーダ ー	加持谷 典範	江府町老人クラブ連合会
サブリーダ ー	山根 正輝	鳥取市老人クラブ連合会
ス タ ッ フ	水落 篤	境港市ことぶきクラブ連合会
	播磨 弘志	境港市ことぶきクラブ連合会
	足立 信義	境港市ことぶきクラブ連合会
	山口 代子	伯耆町老人クラブ連合会
	田中 徳恵	伯耆町老人クラブ連合会
	北村 美津子	伯耆町老人クラブ連合会
	高塚 千代子	日吉津村老人クラブ連合会
	大下 潔	日吉津村老人クラブ連合会
	塩 征治	湯梨浜町高齢者クラブ連合会
	松本 千明	湯梨浜町高齢者クラブ連合会
	小串 功	倉吉市老人クラブ連合会
	伊藤 睦子	倉吉市老人クラブ連合会

■ステージ班(ステージ係) 事務局担当:柳谷

役 職	氏 名	所属
リーダ ー	宍戸 明男	倉吉市老人クラブ連合会
サブリーダ ー	中山 則行	鳥取市老人クラブ連合会
ス タ ッ フ	角 春美	米子市老人クラブ連合会
	池田 和子	南部町老人クラブ連合会
	野口 昭男	南部町老人クラブ連合会
	山田 通	伯耆町老人クラブ連合会
	野上 和男	伯耆町老人クラブ連合会
	藤田 祐治	鳥取市老人クラブ連合会
	小林 亮	鳥取市老人クラブ連合会

■総務班(出展団体係) 事務局担当:金岡

役 職	氏 名	所属
リーダ ー	大村 益康	八頭町老人クラブ連合会
サブリーダ ー	木村 定雄	米子市老人クラブ連合会
ス タ ッ フ	田淵 千里	南部町老人クラブ連合会
	国野 正好	大山町老人クラブ連合会
	小倉 栄子	南部町老人クラブ連合会
	光木 勝利	伯耆町老人クラブ連合会
	天場 正実	伯耆町老人クラブ連合会
	内田 正実	伯耆町老人クラブ連合会
	角田 美都子	大山町老人クラブ連合会
	田中 陽子	北栄町老人クラブ連合会
	田村 禎之	北栄町老人クラブ連合会

■ステージ班(出演者受付係) 事務局担当:柳谷

役 職	氏 名	所属
リーダ ー	庄倉 三保子	南部町老人クラブ連合会
サブリーダ ー	兼本 修二	日吉津村老人クラブ連合会
ス タ ッ フ	遠藤 晴美	米子市老人クラブ連合会
	崎谷 誠二	米子市老人クラブ連合会
	上野 良野	米子市老人クラブ連合会
	酒井 利文	境港市ことぶきクラブ連合会
	高塚 綺子	琴浦町高齢者クラブ連合会
	竹田 三千男	琴浦町高齢者クラブ連合会

■おもてなし班(おもてなしコーナー係) 事務局担当:柳川

役 職	氏 名	所属
リーダ ー	佐竹 ふみ代	鳥取県老人クラブ連合会
サブリーダ ー	亀山 孝子	鳥取県老人クラブ連合会
	山田 きよみ	鳥取県老人クラブ連合会
ス タ ッ フ	前田 八洲子	鳥取県老人クラブ連合会
	庄司 正子	鳥取県老人クラブ連合会
	河崎 和子	鳥取県老人クラブ連合会
	生田 安子	鳥取県老人クラブ連合会
	野川 宣子	米子市老人クラブ連合会
	国頭 かほる	米子市老人クラブ連合会
	亀山 美由紀	米子市老人クラブ連合会
	渡辺 洋子	境港市ことぶきクラブ連合会
	藤本 多津子	琴浦町高齢者クラブ連合会

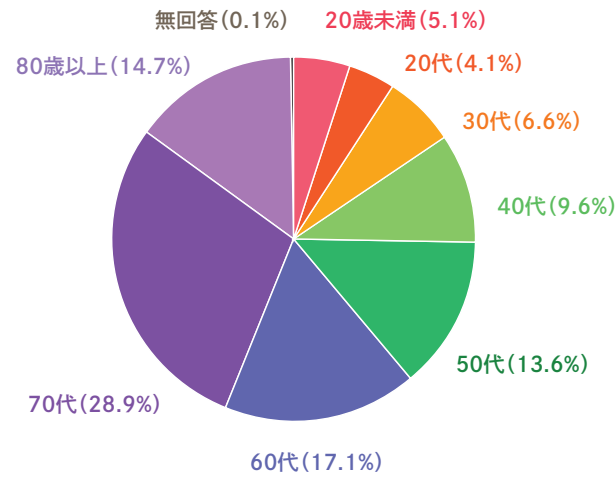
■大会運営委託業者

株式会社m&m.co

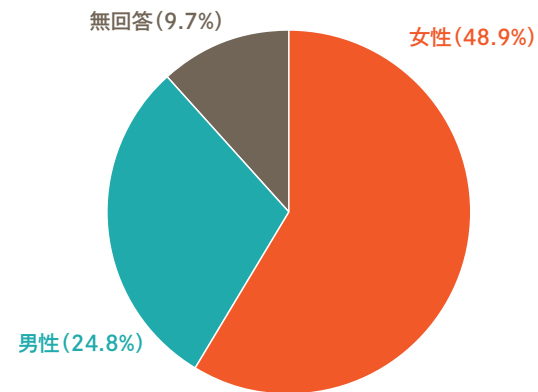


アンケート (アンケート回収数:1,138人)

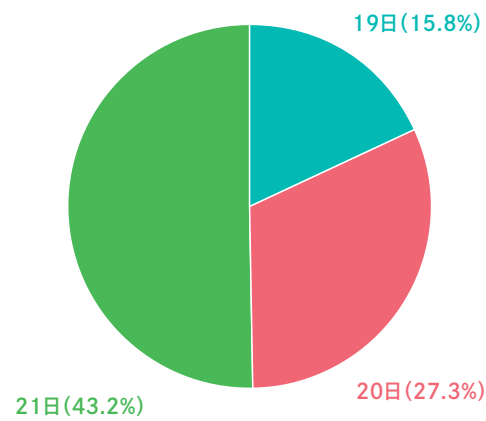
年齢



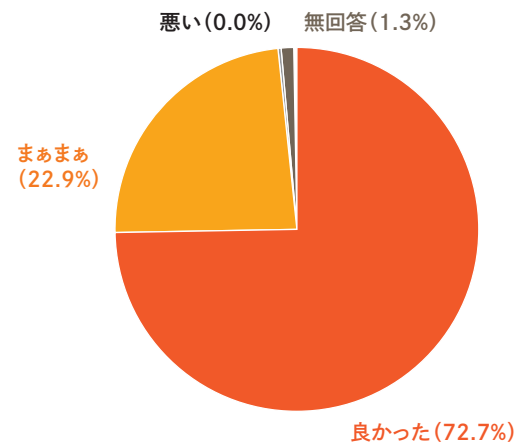
性別



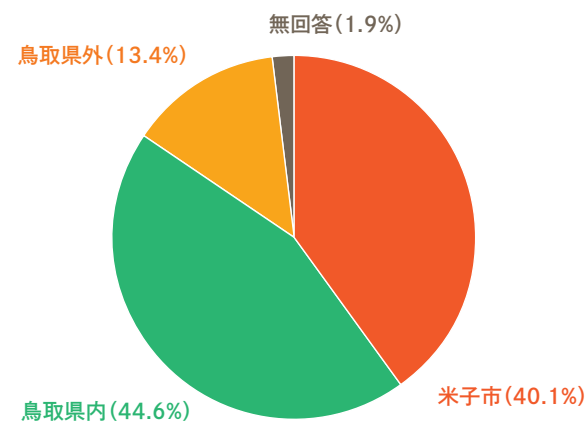
来館日



伝承館全体の印象



居住地



鳥取県以外の内訳

北海道	2	大阪府	9
宮城県	1	兵庫県	7
福島県	1	奈良県	1
埼玉県	7	島根県	80
千葉県	1	岡山県	5
東京都	2	広島県	3
神奈川県	2	山口県	2
富山県	1	徳島県	3
岐阜県	7	香川県	1
長野県	1	愛媛県	1
愛知県	2	鹿児島県	1
三重県	1		
京都府	11	合計	152人

伝承館全体の印象

- 鳥取の事が良く知れる伝承館だった。
- 初めて見るものが多かった。色々な文化が沢山あり勉強になった。
- 普段各地域に行かないと見られないステージが一度に見えてよかった。
- 場所が広々して全体的にゆったりしており、休憩スペースも沢山あって、更には、おもてなしのお茶とお饅頭がおいしくて大変良かった。
- 記念品が可愛くて良かった。
- このイベントで素敵な作品や文化に沢山触れることができ、とても感動した。この素晴らしい作品や活動をもっと多くの方に見てもらえたらいいと思った。
- 老人クラブの活動で、どんな内容が盛んに行われているのか、会員数が減少している中、どんな工夫があるのか知った。何よりも皆さんが輝いていた。とても良い刺激を受けた。
- スタッフが充実しており親切な対応で良かった。

ブースの印象

- ブース配置が良かった。
- 手作りのクオリティが高く興味深かった。
- 各ブースそれぞれの特色があり、体験も多く楽しかった。
- ブーススタッフの表情がとてもイキイキとしており、説明や体験についても丁寧に教えてくれて嬉しかった。
- 日頃の頑張りを感ずることができた。
- 団体名がはっきりわかってよかった。
- 手仕事のすばらしさに感銘を受けた。
- 蒸気機関車の精巧な模型などとても珍しく、動く事にとてもびっくりました。感動した。
- 地域活動が見えたことも良かった。
- にぎやかでよかった。
- 一緒に来た子供が出来る体験がありとても良かった。

特に印象に残ったブース内容

- 折り紙体験、クラフトテープ体験、ミニ傘づくり、竹とんぼづくり、弓浜餅体験、オーリングテスト、認知症テスト(嗅覚、脳年齢)
- 布の絵本の読み聞かせ、竹細工、バランの切り絵、木製蒸気機関車、オシドリに住む町

ステージの印象

- 子どもも興味深く見ていた。
- ステージで子供と一緒に踊っている姿は良かった。
- 美しく素晴らしい照明や演出で引き込まれた。
- どのステージもいきいきとされていて良かった。
- お揃いの衣装で華やぎ、日ごろの努力に感動した。
- 大勢の方がステージに立っている様子は見栄えが良い。
- フランドンスのステージは子供も楽しめた。
- 迫力ある舞台で良かった。
- ステージのアナウンサーが良かった。

特に印象に残ったステージ

- 下蚊屋荒神神楽保存会 明神社、米子がいな万灯、Hula Halau Pikake Terunuma 船岡野郎頭、ローカヒ・カ・マカナ など

その他 印象に残った事

- おもてなしコーナーのはぶ茶、美味しかった。購入したいと思った。
- 温かいお茶(はぶ茶)が頂けてホッとした。また、スタッフの対応が温かった。
- 休憩スペースが沢山あり、ゆったりと過ごせて良かった。
- ブースとステージが同じフロアにあるのは、賑やかに楽しめて良いと思った。
- 出演者コメント ステージの印が非常に良かった。また、素敵な演出をしていただき楽しかった。みなさんが、温かい感じだった。



第33回 地域文化 伝承館 報告書



発行日 令和6年12月

発行・編集 公益財団法人全国老人クラブ連合会
〒100-8917 東京都千代田区霞ヶ関3-3-2 新霞ヶ関ビル内
TEL:03-3581-5658 FAX:03-3597-9447

公益社団法人鳥取県老人クラブ連合会
〒689-0201 鳥取県鳥取市伏野1729-5
TEL:0857-59-6351 FAX:0857-59-6340

来館者からの意見・感想

20歳未満

- 見たことのないステージが多く、とても良いステージで驚きました。
- なかなか普段見る機会がない伝統芸能を見て良かった。
- 色々な地域の特色をアピールできていて良かった。 ●体験ブースが多く良かった。
- スタッフがとても親切で心が温かくなった。 ●めっちゃ楽しかった。

20歳代

- おもてなしコーナーで鳥取県らしく白兔の饅頭が食べれるのはとても良いと思った。
- 踊りが揃って見ていて楽しかった。 ●穏やかで落ち着けるステージだった。
- それぞれのブースがしっかりと作られていて見ごたえがあった。勉強になった。
- みなさんがやさしく声をかけてくれ、また体験ブースでは丁寧に教えてくれて嬉しかった。

30歳代

- 皆さん、自分の好きなことを仲間と一緒に活動されていてイキイキとして見えた。自分も将来こんな風になりたいと思った。
- スタッフがあたたかく、人の温かさを感じて嬉しかった。
- 手作り作品がどれも素晴らしかった。是非学びたい。
- 今後もこのイベントを続けて欲しい。来年もあれば来たい。 ●県知事に会えて良かった。

40歳代

- みんな元気で素晴らしい。スタッフも元気で声をかけてくれて、とても良かった。
- 定期的に色々な老人クラブの活動を知れるといいと思った。
- 高齢者の方々が、元気に活躍されているのを見て、こういう社会が続いていく事を願っている。励みになった。
- このような活動発表の場があると、日々の練習にも張り合いが持てて良いと思う。
- 老人クラブ対象年齢ではないが、対象になったら参加して活動してみたい。

50歳代

- 鳥取県には素晴らしい伝統芸能がたくさんあることを改めて知り感激した。
- 知らない地域のステージが初めて見れて良かった。
- スポーツだけでなく、このようなイベントで交流があるのはねんりんピックの良い所だと改めて感じた。
- 来場者や出演者に子供が多くいてとても良かった。
- 孫と来たが、孫に色々な体験をさせることが出来てとても良かった。
- こういうイベントはまた来たいと思った。

60歳代

- 出展者、出演者が楽しそうに活動されていて、興味が湧いた。
- 各地区で頑張って色々な活動をしておられることに感動した。
- 盛りだくさんの体験、ステージで良かった。
- シニアパワーが凄かった。 ●昔の友人に会えてよかった。
- 伝統芸能は海外でも紹介した方が良いと思った。
- 伝承する事の大切さを改めて感じたので、このようなイベントは続けていくべきだと感じた。作品等も素敵だが、人との交流も出来るイベントで素晴らしい。

70歳代

- 全体的に明るく雰囲気が良かった。昭和に返ったようで懐かしく新鮮だった。
- 高齢者のパワーに驚かされた。活気があって素晴らしい!
- 老人クラブの活動に悩まされているが、今回のイベントに参加し、新しいヒントを得られて良かった。
- 久しぶりに知人に会えてよかった。 ●鳥取の方々の温かさが伝わった。
- 世代を超えて文化伝承されていると感心した。これからも伝承館を続けて欲しい。
- 自分と同年代の方々が、楽しそうに頑張っている姿を見て、元気が出た。

80歳代

- 初めて見る演目が多く楽しかった。地元でしか見られない物が多く、伝承していった欲しいと強く思った。
- 皆様の日常の努力に敬服した。
- 老人クラブ等と一緒に集まれる行事は大変良かった
- 老人クラブの根強い力を感じた。これからも頑張っていきたい。
- 他県の方との交流ができ、嬉しかった。 ●色々和昔を思い出して懐かしかった。
- ゆるだんすスクール(出演)の座って出来るダンスはゆったり出来てとても楽しかった。
- 80歳になり年を取ったと落ち込まず元気に過ごして行きたいと強く思った。
- 毎年このイベントがあれば、高齢者がより元気になると思う。